京城日報

本紙定價　一ケ月金八十錢　發行所　京城太平通一丁目　京城日報社

歐洲政局悲觀（上）

獨逸の將來二途

英國トムソン將軍は最近の歐洲戰爭に於て常に重要なる任務を帶び各地に轉戰し歐洲全局の狀況及び形勢に通曉し居る人なるが其の最近の所論に曰く『歐洲殊に東部中部歐洲の現狀は全く紊亂錯雜と評する外なく取り分け巴里會議の命令したる杜撰極まる各國の新國境と惡疫饑饉に脅かされたる爲めに生じたる此の混沌たる武裝狀態は殆んど言語に絶し居れり而してこの惡疫饑饉は即ち時至つて自ら醫するを得べきも隣境の杜撰より來る各民族の不安は將來必ず何等かの手段に訴へて治療を施さざる可らざるに言ふ迄もなく此治療を行ふ際に再び一大慘事を惹起すべきや否や或は又平穩裡に之を行ひ得べきや如何夫は主として我英國民の決心如何に係るを以て吾人は今より此點に關し慎重なる考慮を廻らすを要すべし此れ英國が直に紊亂の渦巻の外に立ちよく其の形勢を支配して適宜の處置をなし得る地位に在ればなり。借て東部中部歐洲の實情如何にといふに其の國土を本據とするスラヴ民族とチユートン民族とは從來大袈の爭闘を續くべき前生の宿怨を有し居たりしと雖も此度の大戰は此の兩民族の將來の紛爭に向多少の變更を與へざりしに非ず獨逸は尚未だ保守政治の擄に彷徨して新政體に歸するの色なきに非ずと雖も共和團體の第三者の援助を俟つて國運挽回の曙光を看るの日は必ずこれ有らん。露西亞は依然として一の謎たるを免れざるも露獨の腐敗を脫却して更に反動革命の抑止と外敵の國內闖入とはよく其勢ひを防止するに成功したり、現在の勞農政府は或は自ら進んで侵略的たるを欲するものには非ざるべきも外國の軍事上經濟上の威壓に對して之を防衛するの消極的必要あり就中麵麭の爲にウクライナを、油産の爲にカフカスを、礦産の爲にガリツアを把握するの止むなきに至る事はあるべし斯して自ら固うしたる上の露西亞は恐らくは世界の自由の爲めによく最後迄其の帰結を意味に於て露西亞の國土が際限を燃焼さしめずんば止まじ、此の二大陸に跨るの一事、大いに此の世界政局上の地位を有利ならしむるのありと謂はざるべからず。而して此回民族の大勢が蠢動する其力中に進に塗擔を保つものを即ち、巴里に集まりたる各國爲政家の短見狹量の爲めに誤れる國境を命令的に劃定せられたる各小國の運命なりとするなり其の境界の無謀杜撰なるを看る時は吾れ等は巴里會議が果して地理歷史の初歩をすら知りしや否やを疑はざる能はず。然らずんば彼は必ずや一時の憎惡に捕はれ或は報復の觀念に驅られ或は私利の念に驅されて正義の前に跪くの勇なかりしと謂はざるを得ず。例へば彼の波蘭の如き若し民族主義に忠實なりしならんには十五萬方哩の波蘭民族ならざる地方をその領內に編入せるは如何。ワルサウは民主主義の大聲叱呼にしびれども、ガリシア、ウクライナに於ける波蘭政治の實際は果して如何にや。

屑屋の籠

梶原兄弟　隈汀生

平家全盛の世には『花鳥風月のたはむれ、詩歌管絃のさまざまに、春秋を送り迎へしに、如何なる運か來りけん、木曾の驕將に都を追はれ、恩は敵におこされて、主上を始め奉り、一門の人も悉く、花の都をたちいで、西海の浦に赴きぬ。暫は旅の道すがら、山を越え海を渡り、しばしは天ざかる、鄙の住居の身なりしに、』『生田敦盛』去年（壽永二年）播磨の室山、備中の水島、二個度の合戰に打ち勝つて、山陽道南海道合せて十四個國の兵、都合十萬餘騎、津の國一の谷にぞ籠りける。東は生田の森、西は一の谷を限つて、其の間三里が程に落ちくた。海上には數千艘の船を浮べ、陸には赤旗いくらも立てならべ、春風に靡き、天に翻る有樣、篝火雲を燒くかと見えたり。』（箙）時しも二月七日の朝（壽永三年）梶原平三景時は、大手の侍大將として、源範頼に從ひ、城の東門生田の森に向ひけるが、武藏相模の兵雄は、先を爭ひて攻寄せたり、景時の二男平二景高、一陣に進んで攻入るを、範頼見給ひて、『城廓にして堅し、兵多くては拔き難し、宜しく後陣を待つべし』と令すれば、人を傳へて止むるを、景高乾と見返りて

『武士の取り傳へたる梓弓
　　引きては人の返す者かは』

と詠み捨ててこそ攻寄せけれ。然れども城の防備嚴しく、高櫓の上には四國九州の精兵ありて、源氏の勇士多く射殺されければ、景時は手兵を率ゐて攻入りけるに、大將平知盛、多勢をもつて景時が兵を取り籠めて、一時ばかり戰ひけり。景時衆寡敵せず、城外へ颯と引きけるが、我が嫡男源太景季（二十三歲）が見えざるより、『源太は』『源太は』と呼ばれども、矢叫びの聲、人馬の騷ぎに、逢ふべきやうこそ無かりけれ。斯りける處に、源太は郎等三騎になつて、敵八騎と戰ふところに、梶原駈け寄せ、いかに源太、我こそ二度の（驅）懸は、其のまゝに深入りしけるが、寛子ながらも勝なや。いざ是れ源太よ是れまでなり、是れまでなりと、親子かいつれ、しづくと引く汐の、舟の追手のはげしき敵を、又立ち歸り、追ひ拂ひ、打ち破り、本陣に歸れば、敵も味方も、一同に感じて、褒めぬ人こそ無かりけれ。『（二度驅）之を梶原が『生田の森二度の驅』と云ふ。此の時景季、咲き亂れたる梅が枝を箙に挿し添へければ、『元來物更たる若武者に、相逢ふ若木の花箙、懸くれば箙の花、源太も、我先がけん先きかけんとの、心の花も梅も、散りかゝつておもしろや。敵の兵之を見て、あつぱれ敵よ逃すなとて、八騎が中に取り籠めらるれば、冑も打ち落されて、大わらはの姿となつて、郎等三騎に後を合せ、向ふ者をば、拜み打ち、又廻れば車切、蜘蛛手かく繩十文字、鵜飼飛行の秘術を盡（箙）して戰ひけるが、花は散りぬれども、優しき名は後の世まで芳しく、今も神戶生田の社には記念の『箙の梅』を植てあり。『實にや名將の古跡と云ひ、名木と云ひ、名殘盡きせぬ年々に、降るは穩なき春雨の、古きに歸る名を聞けば、其の景季の盛りなりし、若木の花のしらま弓、箙の梅の、今までも、名を留し、主は花の景季の、末の世かけて生田川の、身を捨ててこそ名は久しけれ、武士の心の花に引く、月筆の名こそ妙なれや。（箙）後五年餘、文治五年七月二十九日、源賴朝、藤原泰衡を討たん爲め、白河の關を越ね、幣を關明神に奉るの序、景季を召し『能因の故事思ひ出でずや』と問ふ。景季馬を控へ、畏まつて一首を詠ず。

『秋風に草木の露を拂はせて
　　君が越ゆれば關守もなし』

昔、能因法師、旅の歌として、

『都をば霞と共に出しかど
　　秋風ぞたつ白河の關』

と詠みたり。頼朝白河にて折しも秋の初なりければ、思ひ出でて、景季を唆しけるに、景季其の秋風の二字を取りて頼朝の武德を頌せり。『論語』顏淵篇に『君子之德風、小人之德草、草上之風必偃』といひ、又『書經』に『爾惟風、下民惟草』といへるをも思ひ寄せたりけん、生田の森の景高といひ、此の景季といひ、優しかりける兄弟かな（五月廿三日嘲の夜、少閑あり、謡曲の歌詞文章を集めて、戯れに此の一篇を成す。）

神仙爐　劍花坊

醉古堂劍掃に就て（五）

どうも劍掃の惡口ばかりを云つたが、善い方で云へば、無論、好きで讀むのだから、澤山有る。神人之言微。聖人之言簡。賢人之言明。衆人之言多。小人之言妄。などは簡にして盡、とも云ふ可く、すなはち禪理の間から流れた語だらう。忠臣孝子。無非鍾情之至。も面白い、と思ふ。忠孝が非常にむづかしいものと思うたりする人に、きかせてやりたい。忠孝だつて別に珍らしいものでも無ければ、むづかしいものでも無い。面倒なものでも無ければ、それほど貴いものか、どうかそれもわからぬ。たゞ人間の眞情の流露した、美しい玉のやうなものだらう、それで貴い、といふのならこはれてゐる、所謂寶玉の貴さとはちがつてゐる。人爵の貴さとは及ばない、却つて虚飾するにも當るまい、特に顯表するにも當るまい。忠臣孝子の本意で無からう。

朝鮮川柳發表　劍花坊選

三才

人位　揚平郡　青雲

南班の飛行機を見に轎に坐し

評　この想は他にも無いではなかつたが、中で一番緊つてゐることを認めて入賞にした

地位　仁川　初姫

風呂敷で包んだ顔の片齒

評　朝鮮美人を詠んだ句としてよりも、其修辭にすぐれたところがあるがすこしく添削したのだから、これを地位に下し、他を天位に推した

天位　仁川　右秀郎

木蛙と煙管を叩く立話し

評　朝鮮風俗の斯齒圖だ『煙管をたゝく』と逆に言ひ廻したのも面白いと思ふ

初姫氏に告ぐ　當選の短冊劍花坊先生より送附し來れり住所姓名至急京城日報編輯局川柳係宛

畜産雜誌

養畜養殖有望

▲食糧問題と養豚增殖（地主と小作人との協和）
▲農村の發展法
▲最新緬羊蕃殖法
◎着目せよ　稻田養鯉法
五月號　豚か兎か養殖か
◎成功確實兎の飼方（二）
△チヤボの流行金儲　△有望なる畜産會社
△極畜馬　△高價なる犬
△豚の飼方と利益法　△狐業の將來
▽兎肉料理の數々　▽騾馬文大募集
▽讀者通信　▽畜産新刊紹介
◎實驗最新　渡邊式養豚法
▽面白いスツポンの養殖
▽有望なる鰻皮の作り方
▽飛入勝手　畜産品評會
▽代理店　畜類賣買
安全利殖法

毎月一回十日發行　定價
東京牛込區若宮町十　畜産新報社　振替東京一八四七八番

—THE—
SEOUL PRESS

鮮滿唯一の日刊英字新聞
社長主筆　山縣五十雄
編輯長　宮永品吉
◎鮮滿事情の報道論評
◎外國時局及び思潮の紹介
◎購讀料　從來一月二圓五十錢の所今回送料共一圓に低下（必ず前金）
◎一週間試讀料　郵券二十錢
發行所　京城太平通　セウル、プレス社　電話八四八番

婦人日常の顧問
新婦人
六月號！
◎この一家は如何に破壞せられしか
◎愛と利己主義
◎ヒステリーの犧牲
◎美人の夢
本誌特寫　化粧研究
懸賞發表
◎歷史小說　召使お初　渡邊霞亭
◎小說　女學生　中村白葉
定價一部三十錢　發行所　東京　家庭顧問社

美術雜誌中の決定的權威　第五號
美術寫眞畫報
寫眞版
◎醍醐寺五大明王　◎橋本雅邦の傑作
◎山樂調馬圖　◎寺崎廣業の傑作
◎海北友松の作品　◎加納夏雄の傑作
◎海北友松夫妻像　◎現代名家肖像畫
◎聖德太子木彫　◎吳昌碩の花卉畫
◎聖德太子古畫　◎佛國裝飾壁畫
以上の外計百餘點
別刷繪畫
過去現在因果經一部（原色版）　山城醍醐寺藏
聖德太子繪傳一部（原色版）　傳土佐行光
屏風張附扇面畫（コロタイプ版）　傳宗達
虎溪三笑圖（コロタイプ版）　橋本雅邦
記事
□醍醐寺の寶物……黒板勝美
□聖德太子を主題とした美術……正木直彥
□聖德太子繪傳解說……川合玉堂
□雅邦と廣業……石井柏亭
□一笛風前復又憶君……田中治兵衛
□浮世繪家石川孝保……山下新太郎
□加納夏雄翁の作品……池田孝雄
□現代の裝飾畫を論ず……藤島武二
□風趣に富む吳昌碩の逸品……田中慶太郎
□肖像畫の話……本多錦吉郎
改訂定價壹圓八拾錢
東京市　博文館　振替東京二〇四番

京城學校組合會議員候補者
藤村忠助君
當町內相談の結果同君を最適任者と認め公認候補者として推薦致候
明治町一二丁目有權者

六月號出來!!
新家庭
本號より愈連載する大作
長篇　夕雲　長田幹彥
◎むかし偲ばゆ　伊藤白蓮
◎白蓮さんの自炊生活　古屋登代子
◎強い美男子の結婚　森田みね子
くれなゐ（愈白熱的最高頂に達せる大小說）　田山花袋
◎寶塚歌劇公演に就て本誌愛讀者の優待法
◎姙娠から分娩までの事　吉岡彌生
◎漫畫家の東京縱橫見物　岡本一平
爲右衛門の幸福（喜劇）　秋田雨雀
信濃日記　有島武郎
定價八十錢送料三錢　東京芝公園　玄文社　振替東京一四一七七

婦人之友六月號
婦人の職業と文化
婦人と文化　三宅雪嶺
婦人と職業　金子馬治
此の生の使ひ方　羽仁もと子
米國に於ける婦人職業　生江孝之
職業婦人と職業的勞働
私職業に從事する譯　職業に從事し得ぬ譯
なやめる友へ　主筆
長篇小說　闇の花　德田秋聲
長篇小說　紫の上　楠山正雄
名作物語　青い鳥　秋田雨雀
定價金四十錢　東京雜司ケ谷　婦人之友社

京本と古本高價買入　京城本町　ウツボヤ書店

左官建築材料
セメント　石灰　左官材料　各種色土　砂　各種布海苔　苆　左官用鏝　各種塗料用品　建築材料　各種煉瓦　土管　瓦　火山灰　珪藻土　各種耐火煉瓦　防水劑　鑄工製鐵所用品
小野田セメント會社平壤支社製　石灰特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社製　瓦斯コークス　コールタール　特約販賣
九州火山灰株式會社　代理店
京城旭町一丁目

朝鮮燐寸株式會社
株式名義書換停止公告　當會社定款第十三條に因り來る六月一日より定時株主總會終了の日迄株式名義書換を停止す　大正九年五月

院主歸國中　上野齒科醫院

中古製麵機械

店員二名入用

オキシヘーラー

店員募集　十五六歲

燒板入荷　熊野商會

高給外務社員採用

尋犬

電話番號變更　龍山壹〇〇七番　小川周藏

讓店

古本高價買入　文光堂

ほねつぎ　うちみ　柔術道場　明治町

古本比高價買入　群書堂

京日案內

京時間表

[illegible]

アルメニア統治承認要求

ウイルソン氏は議會に教書を送りアルメニアに於ける米國の委任統治を承認せん事を要求せり(華盛頓電報)

ハイス會議延期申出

巴里特電＝聯合國代表者は獨逸政府に對しスパイス會議を六月廿一日に延期したき旨申出でたり(東京電報)

對墺條約通過

廿六日の衆議院にて對墺講和條約を大多數にて通過せり(北京電報)

大使會議 仲裁依頼承認

各國大使會議は米國政府より通牒を受けたるが同通牒に於て大統領ウイルソン氏がアルメニアの國境限界に就て仲裁すべしとのサンレモ會議の依頼を承諾せり尚大使會議は匈牙利のベルサイユ條約に調印すべき日は六月四日と定めたり(巴里電報)

獨政府運命注目 現政府勢力失墜

巴里特電＝六月六日行はるべき獨國民議會總選擧及續いて開かるべきスパー會議は確かに獨逸當局の運命を決すべく目下總選擧運動は熾烈を極めつゝあり其の結果に就ては未だ豫想困難なるも現政府黨は著しく其の勢力を失ふと共に右黨並に極左黨の間に頭數を増加するは明言を憚らず而して右黨の勢力增大しつゝある原因は勞働組合のストライキ協定の爲め多くの勞働者は自己の生活を脅かされ宗社黨に屬するを欲せざるに至りしと共に右黨を脱し獨逸民主黨に入りし知識階級の多數がストライキの爲に再び右黨に復歸するに至りしに因る右黨中に於て勢力著しく增加するは獨立黨にして極右黨たる帝政復興派に然らず斯くして現政府が果して選擧に失敗せば勿論續いて起るべき問題は更迭なるが其の如何なる黨派との聯盟を以て政府を組織するやに注目に値す(東京電報)

獨將佐官等免官

獨逸海軍中將オシヤロスター同エゼントロー陸軍少佐アールチハム及其の他陸海軍將校十二名はカップ博士の革命に參加したる廉を以て免官となりたるが右の外尚廿五名は現役を免ぜられたり是等全部に對し告訴するや否や目下審議中なり(伯林電報)

ワルデツク提督漢堡着

前青島總督マイヤー、ワルデツク提督及び日本より歸還の最終獨逸俘虜を載せたる運送船南海丸は此程…新市長フオンベル伸士國防大臣名代チーゼル提督及び獨逸東洋協會代表フオンベルスール總督等の出迎ひを受けたるが彼等は青島の包圍に際し英雄的行動をなしたるに對し特に感謝の念を捧げたり(伯林電報)

墨大統領決定か

ラトゼト二十二日發伯林墨西哥電報＝墨西哥副領事の下に達したる報道に依ればヴエルタ氏は墨西哥の臨時大統領に選ばれたりとのことなれども未だ確報に接せず(伯林電報)

カランザ殺害下手人

墨西哥來電に曰くルトルフセレン大佐は大統領カランザを殺害したるが其の他の名士には害を加へずと公表せり(華盛頓電報)

聯盟委員罷業繼續

鐵道從業員聯盟執行委員は同盟罷業を繼續するに決せり(巴里電報)

東洋人問題論議 加奈陀西部地方商議聯合會

カルガリーに開催中の加奈陀西部地方の商業會議所聯合會に於て東洋人問題を論議し政府は東洋人問題に對し慎重なる注意を拂ひ英領コロンビヤ其の他西部諸州の豐饒なる土地が日本人又は支那人の手に歸する形勢に就き審議す可しとの動議を通過せり(晩香坡電報)

米政府對ヴ將軍通牒

興京縣知事排日態度改る

徐吉林省長免職請願

新義州記念日 廿七日 …何れも盛會

伊國失業者暴動

伊太利北東部諸地方に失業者の暴徒起りカラチ市にては共産主義者十八名逮捕されたり過激派の掲げたる赤旗は終日其儘に放置され居れり右の形勢は頗る重大なりとセラ紙は報ぜり(倫敦電報)

過激軍國境侵入 英軍敵せず要求に從ふ

巴里特電＝裏海の西岸に在るアゼルバイヂヤン共和國は最近露國政府と協商の結果四月三日頃約六千の過激派軍バクーに上陸の後其の一部は波斯國境に在るアスタラに進入し他の一枝隊は五月中旬エンゼリー港に上陸しタカルイス附近に駐屯せる英軍に無條件降伏を要求したるが英軍は衆寡敵せず其の要求に從ふの已むを得ざるに至りしがバクーの過激派軍は漸次勢力を增加しつゝあり遠からず波斯内地に向つて侵入を企つるものと判斷せらる彼の英吉利・波斯條約に對する密約として昨年末英國を訪問せる波斯國王は數日前本國に歸着したり而して同國宰相は病氣靜養中に在り國内輿論の大半は既に過激派と傾かんとし協商の結果英國より借付たる數百萬磅の金は既に消費せられ英國財政顧問は未だ同國の財政整理に着手するに至らず此時に當り過激派軍の侵入を見るは單り波斯のみならず英國に取りて重大なる變化を見るべし新聞の記する處に依れば同國の陸軍兵力は小銃隊六千(幹部は露國將校)哥薩克(幹部同)及びスモレンスク騎兵隊八千人なりと(東京電報)

ス市反過激蹶起 同市の政權を奪取す

陸軍省着電＝二十一日夜スパスカヤに反過激派運動起り舊軍人の市長、郡長等其の他革命側の有力者約二千名を逮捕し同地の政權を奪取せり此の運動は尼市及び浦鹽に聯絡を有するが如きも今後如何に發展すべきやは不明なり過激派軍は此種運動に對し何等與り知る所なきは勿論若し彼等にして秩序を紊亂するに於ては武裝團體を有せる日露軍事議定書に基き相當の處置に出づべし唯純然たる政治運動に對しては不干渉の態度を持する方針なり(東京電報)

續々行動開始 反過激派

浦鹽に於ては反過激派がパルチザンの殘黨より成る臨時政府乘取を計畫しつゝありと傳へられ又ニコリスクに於てタインチエフ大佐を首謀者とする二百名の徒黨停車場及市内に在りて反過激派的行動を開始せんとすと報ぜらる尚又スパーシヤルヤにてセミヨノフ、カルムイコフ兩將軍の部下將校等は二十一日午後八時行動を開始し郡長民政長市長其の他廿餘名を逮捕し尚ほ新に民警を組織し自衞を勵行し舊露國旗を掲げたりとの報あり右に關し一部に於ては日本が後援者なるが如く評ゆるものあるも聞く所に依れば右の流說は無根にして日本軍隊は何等與かり知らざるのみならず公明を缺ける反過激運動に對しては却つて信を擊つゝありと(浦鹽電報)

極東共和國々境

極東共和國の國境は西南はセレン河を起點とし勞古國境に沿ひボウノンナヤ村に至り北方は貝加爾グレミヤチンスカヤに沿ひヤククツクジウに達し更にヤブロノイ山脈に沿ひ勘察加、北氷洋に達する迄を境界とし東は貝加爾黑龍州沿海州樺太勘察加を含む尚ウエルフネウヂンスク政府は極東政府に於いて勞農政府を承認し財政經濟協約を締結す可く又浦鹽政府、ブラゴエチエンスク政府とも協定する筈(浦鹽電報)

ガリシヤ軍オデツサ進擊

ソルソーよりの無線電信に依ればガリシヤ軍は小露軍と合しオデツサに對する進擊を試みつゝありと(倫敦電報)

黑龍州徵兵布告

奉所着電＝五月十七日黑龍州賞行委員は監獄又は通信及被服係として戰爭に服せしむる爲め黑龍州居住の十七歲以上三十五歲以下の者に對して布告を發し同布告後三日以内に年齡住所を屆出でざるものは軍法會議に附する旨訓令せり(東京電報)

新代議士の朝鮮滿洲觀 滿洲は絕好投資地(上)

衆議院議員 清瀨規矩雄氏談

滿洲に於ける希望は非常に多い、殊に天産物の豐多なるには驚く許りである。之を旨く開發すれば莫大なる利益を得る事と信ずる內地の資本家は投資に就て多少行き詰りの有様であるから滿洲に放資することは事業の經營こそ人物さへ得れば決して躊躇するもので無い事と思ふ、十年前に滿洲を視察した時には悉でも蹉目であらうと思つたが

近時滿洲に居て能く研究して見ると實に驚き入る許りである農業の如き在來の高粱等の低級なものから小麥米の一歩進せるもの產出し得るに至れり又大なる利得を得ると思ふ更に礦産物に於ては多大の前途がある、之れを充分に研究すれば總ての事でも放資の途がある、之に就ても内地人に滿洲に於ける知識を普及せしむる必要の爲めに新聞記者團の滿鮮視察團を起した、然し選擧運動の爲めに私は同行する事を得なかつたが之は我黨の發起である、而して順次に政治家實業家等にも團體的に視察旅行を勸誘する筈であるが議會に當選して高級を辭した爲に…

●生活の程度

も高くなつて來て居るから富んで居る、分中止せざるを得ぬ滿洲に於ては日本人支那人共に能く融和して居る、殊に支那人は他の地方よりも勞銀の高き爲めである又大丈夫行ひ得る事と信ずる時非常に日本人を排斥して居る米國では永く米國に居たが同地では日本人の成功者にはこした士地所有權をも認めんとしない今日の場合であるから然るに米國で得たる最も有利なる行動と信ずる米國の人は宜しく滿洲に移住するもの比較にならぬ程多いが此等の人もあるが其の活動振も驚くべきものである、亜米利加の中々に難い、大日本人排斥の甚だしきは實に遺憾である滿洲は氣候に於て更に適當して居るが日本人は百姓の道を求むるより外致し方がない、滿洲は相當にあるが問題は水利の問題である、米國では他に…

米國に比し

米價が騰いか、いけれども從つて賃金も騰いから損失は大なる損失はあるまい米國では加州が今日の盛況を呈するは全く日本人支那人の勞力を使用した爲めであるも然るに米人は之を無視して日本人を排斥するのは不都合の至りである、しながら之れによつて無數の利益もあるが其の活動振も驚く可きものでアンナ伊太利人に素晴らしい…英町から三十英町の地を得て經營する事に思ひ二十年も立てば三十英町の土地を得るに非ざれば決して滿足をせぬ

書類交附延期希望 山東問題＝獨逸代表へ

外交部は二十四日和蘭駐箚公使唐在復氏より最近同公使と獨逸代表との會見の顛末を報告せる電報に接せるが内容は山東問題は支那國内の反對あれば未だ獨逸より日本に交附され居らざる書類の交附は成る可く延期され度しとの希望を述べたるものなりと(國際通信社北京電報)

吳氏代表會見と條件嚴守

吳佩孚氏は二十三日杭州にて張、曹兩代表と會見し條件を定め嚴守するに決せり(北京電報)

財政部二百五拾萬圓借款

財政部は米國商人信昌洋行より六箇月の期限にて二百五十萬元を借款すべく交涉中なるが擔保は同國の國庫證券にて利子八分又第二擔保は二箇月の地税剰餘金なりと(北京電報)

華族令改正進捗 根本的大改正

宮内省の現行華族令改正計畫は最近頗る進捗し案外速かに根本的大改正行はるべく調査の結果臣籍に御降下あらせられたる皇族方を始め家の方なき由緒正しきもの除き代毎に爵位の遞減、[illegible]等の事も課せられ斯くして現行華族令を改正し常に華族の保護賜金令等も改正さるゝ筈なるが右決定の上は御裁可を仰ぎ發布さるべしと(東京特電)

政友財況協議

政友會にては二十六日午後二時より幹部會を開き各幹部出席し財界の現狀救濟に關し種々協議する所ありたるが結局當局と交渉の上協議を續行することゝし其の他當面の重要問題に就き協議し同三時散會せり(東京電報)

聖上沼津行幸

天皇陛下には豫て仰せ出されたる如く二十六日午後零時四十分宮城御出門東京驛御發輦同一時御發車同四時四十五分沼津驛御着御用邸に入らせられたり(東京電報)

杉山氏勅選か

關東廳長官の更迭に伴ひ事務總長杉山四五郎氏は辭職して貴族院に入り勅選議員たるべしとの說あり(東京電報)

滿鐵資金調達員

滿鐵の事業資金調達委員として[illegible]

石本相生、有賀、中村の五氏決定し野崎會議所會頭書記長隨行卅日發京丸にて東上す可し大連市民は其の行を盛んにする爲め廿八日送別會を開く筈一行の經費は一萬乃至二萬圓の豫算にて[illegible]有志より出資する由

恐慌原因 大村商議書記長談

内地財界を視察して此程歸城せる大村京城商業會議所書記長の談に曰く

連次内地財界の窮況は其原因なる所私見では世界的不景氣の襲來したる銀行の急激なる引締めに變化したるによるものとは思はれない其結果內地商人は各地とも投資を行ひ店頭に

犠牲的投賣

こか金が廻らぬとか立札を見受けた而して投賣値段の如きも底値のそれと比較して遙か安い際である予は福井地方を視察したが同地では機業家…

朝鮮關稅改正計畫 林關稅課長の談

朝鮮關稅改正に關する本府計畫の結果は中央政府とも交渉の結果統一關稅主義に依り對外關稅は豫て韓國併合宣言に依る關稅制度を布くを見る事となり一日より關稅法等を朝鮮に施行したが整理期間滿了後直ちに本年九月一日より全部終了すべく

特殊の事情

あるもの若干の特例を設くるの方針を以て前議會に提出のことに運びたりしも議會解散の爲め遂に提出に至らざりしものなるが本府に於ては更にこれを臨時議會に提出することに決定せるを以て議定の如く來る九月一日より朝鮮に統一關稅を施行すべく從來內地及び朝鮮に於ける相互の關稅障壁は兩地間經濟交通を促進し産業の共同的發達に資せむが爲全然之を撤去すべき方針なるも朝鮮に於ける對內關稅は本府歲入中重要の地位を占め且此の際巨額の財源を失ふに於ては幾多緊急施設に要する

多額の經費

の爲め本年度の財政計畫に於て已むを得ず之が撤廢を延期せる次第にて前述の如く對外關稅統一後に於ても當分の內地關稅を存置し來るも一の點內地關稅を存置すべし然れ共之が撤廢時期は直に內鮮經濟界の利害に影響する處大なるを以て可成的速に實現を期せんとするに在り

同樣の事情

ある外國品の移動に付いても[illegible]

物價低落 一齊に頭打

騰貴に騰貴を重ね來れる物價も財界不況の影響による前途の悲觀と消費者側の買物手控へとは相俟つて京城市要商品も四月より漸落歩調をとるに至れり鮮銀調査を聞くに財界動搖以來諸物價は漸次軟化の傾あれど賣惜んで居るも…四月中各品の騰落狀況を見るに殆ど底値に近き品種にありては…

生産品

は左の如し(▲印騰貴△印下落◇印保合)

品目	四月指數	前月指數
玄米	△四八六	五二五
精米	△四〇二	四二九
大麥	△三一五	三八〇
小麥	△三三六	三八三
大豆	△三五六	三八九
小豆	△四七五	四八六
叺莚	△二七〇	二九八
葉煙草	△五一〇	五七一
明太魚	△五五四	五七九
雞卵	△一五八	一七〇
木綿	△一八一	二一三
繰綿	▲四四〇	四二五
松材	▲三九三	三八三
薪	△二八三	三六六
炭	△二五三	二九六
紙	△三五七	三七一
牛皮	△三一八	三三四
牛骨	△三九三	三〇一
平均	△三五四	三八一

輸移入品

品目	四月指數	前月指數
麥粉	△二七六	二八九
精糖	△四一九	四二九
醬油	△二八〇	二八七
清酒	四〇五	四五四
麥酒	◇二五七	二五七
綿糸	△四三六	四八一
和金巾	△三六六	三八六
支那紬	△三三六	二五五
棉花	△二三八	二五三
石油	△三五三	三五四
石炭	▲三八五	三七[illegible]
燐寸	▲二九九	二九[illegible]
木材	◇四二九	四二九
金物	四二六	四九三
洋紙	▲三五二	三三八
小平均	△三四[illegible]	三五五
總平均	△三四九	三六九

品の騰貴は鐵原紬の騰貴、松板材は高價既約の許の騰貴品は鐵原紬の關係に入りしため松板材は高價既約品の入荷ありしためなる如く石炭は要するに供給不足より來り洋紙は大勢四月まで尚ほ騰勢を續けしためならん

月末小康狀態 越月無事か

悲觀されし月末の京城財界も(一)總有解合問題の決定(二)內鮮銀行の協調(三)内地の反騰其他により鬼に角小康狀態を續けしつ、經過するもの、如し即ち內鮮人共商般業小商人の倒産は少からずありしが商人は其の範圍狹く資力も微弱にして影響する所少からず又鮮人側共に相當の階級に破綻の生じたるもの若干あれど地場銀行の同情的措置により幸ふじて窮境を支へつゝあり月末も存外平穩に經過すべきかと

某銀行家談

好況時代に振出されし不良手形は本月より來月中旬頃まで略結末附けらる、ものと見得べくその後の財界は兎に角相當に安心して臨みて可なるべし斯かる際內地二三の僞造說ありその實現を見れば內地金融の緩和はある程度まで當然期待して差支なく從つてその影響は敏感に朝鮮にも及び來るべし勞へ融の梗塞も此の底と漸次緩和狀態に入るに至るべし…

財界閑話

三月頃春窮以來一般物價は一貫二十圓以上を期待されてゐたが▲生絲の暴落と米國財界の動搖で人氣は全く崩れ內地買際は取引は十圓から十一圓所らしい▲今後相場がどう動いて行くかは俄に斷じ難いけれど內外の形勢は樂觀の餘地多からぬ▲投機家の懐は餘程算盤に狂ひを生ずるだらう▲朝鮮の産繭は年額十三四萬石七十萬貫見當と云ふから繭價不勢の影響は決して輕くない▲某大銀行に內地から入つた情報によると絲價も極端な悲觀說が出てるが▲先づ信州上一番二千圓見當を上下する位の價値はあらうとあつた▲して見れば上繭十三四圓の價値につけてよからうとの事▲ある百卅銀行京城支店の京城中場說が出た▲例の風說でさもに足らぬものだらう▲反し惜まれ見ごして大に世にはびこるかも知れぬ

政務總監設宴

記者團招待

水野政務總監は廿六日午後七時より內地新聞記者團一行を官邸に招待し晩餐會を開催したりと

飛行將校招待

廿七日午後零時半總督官邸に於て伊太利飛行將校マシエロ・フエラリン兩中尉を招待したり

博士技師招待

廿七日午後七時半より朝鮮神社造營設計に參與したる工學博士伊東忠太、總督府技師岩井長三郎、[illegible]太郎の諸氏を自邸に招待し晩餐會を催す由

植野少將招待

廿八日午後七時半より自邸に於いて晩餐會を開催し軍馬補充部長植野少將、田島技師、中山大尉外八名を招待すべしと

阿部氏招待

來る三十日午後七時より入城中の國民新聞社長阿部充家氏を招待し晩餐會を開くべしと

朝鮮語試驗 執行

內地人教員朝鮮語第一次試驗は左記の通りの日割を以て施行することゝなりたるが、受驗者は官報記載の事項を具して道廳を經由し試驗前に届出すべし因に至急に於いて受驗者の注意すべき事項を記入すべしと

京畿道大正九年六月二十八日道廳、忠淸南道同上、忠淸北道同上、全羅北道大正九年六月二十七日光州公立普通學校、全羅南道同五月二十八日全州公立普通學校、同六月二十八日、慶尙北道同上、慶尙南道同上、黃海道同六月十一日道廳、平安南道同上、平安北道同上、江原道同上、咸鏡南道同上、咸鏡北道同上

(備考)試驗時間は午前八時より十時まで翻譯及書取(翻譯一時間半書取三十分)十時十分より會話とす(慶北を除く)

岡山教育視察團

岡山縣教育會主催の朝鮮滿洲教育視察團一行…

辭令

今回左の通り辭令あり

依願免本官 京城公立高等女學校教諭 丸野 優

依願免本官(廿五日附) 總督府道警視 松元 熊爾

依願免本官(仁川府尹) 總督府事務官 …

朝鮮總督府高等土地調査委員會委員被免 總督府事務官 藤本 海市

京畿道在勤を命す(以上廿六日附) 總督府道警視 福田 源一

平南第一部土木課長を命す(二十二日附) 總督府技師 秋月 榮夫

古蹟調査委員を命す(廿四日附) 同 事務官 田中 卯三

古蹟調査委員長を免す(同) 同 月脚 幸太郎

警務局保安課長兼務を命す(二十五日附) 同 白上 佑吉

警務局保安課長を免す(同) 同 卜部 正一

總督府學務局長 柴田 善三郎

內地人教員朝鮮語試驗委員を命す

總督府通譯官 陶山 武二郎

京城高等普通學校教諭 崔 在(?)

京城女子高等普通學校教諭 玄 櫶

總督府平安南道參與官 兪 星 濬

北道參與官 尚 [illegible]

總督府忠淸南道參與官 鄭 關 敎

總督府全羅北道參與官 金 潤 晶

總督府慶尙北道參與官 金 寬 鉉

總督府慶尙南道參與官 申 錫 麟

總督府[illegible]參與官 [illegible]

選擧心得正誤

昨紙二面に掲載せる選擧心得の記事中第七項末尾に元の投票用紙を請求せらるべしとあるは元の投票用紙を最初の用紙交付所に返りて其の旨を告げ引換へ更らに用紙を請求せらるべしの誤に就き訂正す

會社

▲勞働大會入會者 朝鮮人勞働大會に入會者は今月二十日迄に元山、開城、平壤、晉州、光州、論山、湖南等八ケ所に支部を開設したるが本支部を通じ約一萬名の入會者ありたりと

▲尾西氏送別會 社仁浦及び二十六年なる元朝鮮新聞社長尾西要太郎氏は三十一日仁川に於て氏の出發に際し加來榮太郎外三名の發起の下に廿八日午後七時より仁川俱樂部に於て盛大なる送別會を催ふす由會費金四圓希望者は會場へ申込むべしと(仁川)

▲教育研究會講演會 朝鮮教育研究會主催の講演會は廿六日午後七時半日出學校に於て開催されたるが京城中學校長開會の辭に次いで今井田日比谷聯隊附の公共團體の使命と題し平易にして有益なる講演あり終つて喜多文學博士の民族競爭と題する頗る興味ある演述あり閉會したる午後十時なりしが聽衆殆んど堂に滿ちたりき

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏(警務官) 二十六日忠淸北道より歸城

▲秋山大將(軍事參議官) 廿八日午前十時四十分著列車にて入城

▲千家尊天氏(…) 廿七日朝入城…

▲松村良太郎氏(…)…

▲東京朝日新聞…

▲鳥海陸軍少將… 二十六日夜入城

▲久保寺氏(子爵) 二十六日…

▲フライシヤー氏(米國…)ドバーザー社長…

▲エキスプレス主催米國… 十七日朝奉天へ

▲谷村鎮貞氏(…)九日午前十時南大門…

▲都督府中將… 二十七日夜…

▲林亦一郎氏(…)…六日夜出發…

▲田中一穗氏(…)…

▲松平直平子(…)…夜來城朝鮮ホテルに投宿…

▲村松太郎…

重要書類

…

寸鐵

レニン、トロツキー等は…過激派の軍大打擊…ゾルシローフは…レニン、トロツキーが…

刻下財界不況と東拓

松平東拓理事談

内地財界不況に伴ひ本社の事業經營上刻下直接に影響打撃あるべしとは思惟せざるも今後財界悲況に陷り物價低落と共に米價の下落するものとせば擧げたる土地開墾等諸施設の進捗上にも打撃する事あるは勿論なれど只今の處米價は依然五十圓臺を保ち居れば何等其の計數の上には之が影響を認めざるが如し殊に本社の貯藏米は還元せる販賣前即ち三月以前に殆んど大部分を賣却し居るを以て何等の損敗を見ざりしが尚ほ現在持越米としては七萬石を有するも之れ亦既に賣約濟みにて差したる損失に非ず、彼の植民事業は既定計畫通り實行して別に變りたる事無きも財界好況の折の如く膨脹ならざるは又餘儀なき次第なり、資金貸出に就ては多少に金利昂騰の結果一般貸附額の減少を見たるも特に還元の財界不況が

直接影響

せらるものにあらざるべし尤も長期貸付の向に對し短期の事業資金貸出を爲すが如きは考慮を要する事にして又本社資金部に於て社債の募集或は拂込等を企畫する事も一策ならんも刻下財界の状態にては難調の進行極めて疑問にて先づ不可能なりと觀測する方可ならんか云々

滿鐵事業行惱

滿鐵にては刻下財界不況の爲資金調達不能に陷り沿線一帶の各事業者等は事業中止の影響を受け失業者増加すべしとの説傳へられつゝあるが之に就き某消息通は語りて曰く資金の調達不能とは絶對的のものに非ず目下の財界にては増資の拂込可能なるや否や疑問にして鐵に臨時總會に於て決定せるが如く増資は既定の問題なるも之が拂込期日は未だ確定せず且目下同社幹部に於ても考慮中なり殊に現在は社債の發行も已に其限度に達し餘裕無く加之銀塊の暴落し延て滿鐵地方事業經營の上にも打撃少からざるを以て旁々支那側勞働者の失職を見るに至るやも計られず兎に角滿鐵事業上多少の頓挫は免れざるべし然し財界安定を告げ且議會に於て政府の承認を得て保留し居る社債發行認可のあれば前途は毫も支障なかるべく唯一時的事業の遲滯に過ぎざるべきか（東京支局）

東京記者團旅程

目下滯城中なる東京各新聞通信記者を以て組織せる拓殖研究員の旅行日程は左の如し

日次	驛名	發着時刻
廿六日	京城	
廿七日	滯在	
廿八日	仁川往復	
廿九日	南大門	發午前[illegible]
同	平壤	着午後[illegible]
三十日	同	發午後[illegible]
同	五龍背	着午後[illegible]
卅一日	同	發午前[illegible]
同	安東	着午前[illegible]
六月一日	蘇家屯	發午前[illegible]
同	撫順	着午前[illegible]
同	蘇家屯	發午後[illegible]
同	奉天	着午後[illegible]
二日	滯在	
三日	奉天	發午前[illegible]
同	長春	着午後[illegible]
四日	長春	發午前[illegible]
五日	公主嶺	吉林自由行動
同	鞍山	發午後[illegible]
六日	營口	着午後[illegible]
同	營口	發午後[illegible]
七日	大石橋	着午後[illegible]
同	熊岳城	發午後[illegible]
八日	同	着午後[illegible]
同	大連	着午後[illegible]
九日	大連	滯在
十日	旅順往復	
十一日	大連	發
十二日	船中	
十三日	船中	
十四日		
十五日	神戸	發午後七時
十六日	東京	着午前八時四十分

南京記者團

（南京）入城せる拓殖局出入記者團一行は二十六日總督府商品陳列館、中央試驗所、東小門內總督府醫院、總督府醫[illegible]等を視察し二十七日は幼稚園、女子高普、商業學校、鮮銀、東拓、李王家美術品製作所、景福宮、獨立門等を觀したるが二十八日は仁川に赴き即夜歸城二十九日午前十時平壤に赴く筈

咸北の放牧地

草地逐年減少

從來牛馬の放牧及び採草地として利用せられたる地域も近來漸次開墾の結果草地の面積次第に減少し耕作地に編入せられ逐年減少せるを以て放牧地域を劃定し其の設定を爲すべき事なりとて咸鏡北道にては大正三年以來各郡に對し牧野の設定を勸めつゝあるも未だ廣大の地域を設定する能はず今各郡に於ける牧野の狀況を記すれば左の如し

▲鏡城　朱乙溫面及び朱北面に亘り約四百町步の國有山野あり長白山脈の支脈横走して三十度內外の傾斜を爲し溪谷には四季を通じて流れ牧牛馬の飲用に適す[illegible]砂地等なる山腹に樹林あり野草の發育良好にして反當草百十貫を採草す種類は萩、カヤ、キツネカヤ等あり

▲明川　下古面に約四百町步の國有山野あり本郡に於て名高き鍾嶺の支脈は四圍に跨り十乃至二十度の傾斜を爲す土質は壤土にして混地なり稻河川に乏しきもあり地味肥沃ならざるも禾本科植物の繁茂し草質良好なり

▲吉州　雄坪吉城甕北の三面に跨る約千町步の國有山野あり地勢坦にして水源なく溪流不乏[illegible]樹木なく草生不良にして採草の類も不[illegible]

鮮鐵客月荷動（下）

石炭、木材、鹽、豆粕の輸送盛況前年度に比し二割八分の收増

本月中に於ける荷動狀況を見るに今途數量三十一萬七千六百二十七噸、收入九十六萬七千二百七十八圓にして之を前年度に比すれば數量に於て五萬一千九百噸（一割六分）收入に於て二十七萬四千六百二十五圓（二割八分）を増加せり今更に出荷の主なるものに就き前年度に比すれば一般に經濟界の沈滯に依り當面取引不振なるに拘らず豆、[illegible]、綿布、食料品等の輸送に影響を受け多大の減退を示し鹽及干魚の出荷殆んど半減せられたるも他二三の品目は其の出荷稍々増加せり尚ほ工業用材料、木材、石炭及煉瓦等の輸入は依然多量にして漸次増加し其の他新炭、金巾類、セメント、麥等増加したるもの多く今其の主なる品目の成績を示せば左の如し

品目	噸數	品目	噸數
木材	[illegible]	煙草	[illegible]
石炭	[illegible]	金巾類	[illegible]
鹽	[illegible]	石材	[illegible]
米	[illegible]	肥料	[illegible]
豆粕	[illegible]	繩叺	[illegible]
粟	[illegible]	明太魚	[illegible]
雜穀	[illegible]	酒類	[illegible]
鑛石	[illegible]	煉瓦、セメント	[illegible]
薪炭	[illegible]	穀物	[illegible]
石炭、セメント	[illegible]	野菜	[illegible]
日用品	[illegible]	紙材	[illegible]
大豆	[illegible]	風料品	[illegible]
乾干魚	[illegible]	黑鉛	[illegible]
麥	[illegible]		

右之を前年度に比較し増減の著しきものを舉ぐれば（□印減）

品目	増減噸數	品目	増減噸數
石炭	[illegible]	干魚	[illegible]
木材	[illegible]	鑛石	[illegible]

咸南春蠶豫想

本年の掃立數は前年に比し二三割減なり掃立は概ね十五六日頃より廿二三日頃迄の間に於て大部分の掃立を見たるが北部の發育良好にして掃立數は前年より少きも收繭は前年に比し大差なく成績良好なるべく豫想されたる[illegible]は六千石以上に及び前年に比し[illegible]收繭の見込なり（咸興）

▲鏡城　[illegible]
（以下牧野記事續き）

▲[illegible]　國有山野の一部に約五十町步の國有山野あり乃至二十度の傾斜地にして[illegible]

棉糸布品切

營口より

布市場は銀の引返し及び三品の形勢挽回に依りて支那側には買ひ起りつゝあるも支那商の大部分は何れも手持品を投げ出したる後なれば時期に入りて過ごしつゝある事とて[illegible]

旱魃と木材

日照續きの爲め旱魃の恐れあり降雨なく河水涸渇して流筏不能の爲め木材の出荷皆無なり[illegible]

撒水に窮す

營口市街の撒水は數台の撒水車を以て水道の消火栓より給水を受けて實行しつゝあるも使用の多量なる爲め水道の給水不能となり且つ西營口の方に於ては撒水用給水を斷つに至り斯く撒水用給水を得ずして商店住宅の井戸水を汲みて撒水しつゝあるが是れ以上何等の妙案もなく困り果て居れり

鹽

支那側鹽の輸入前月引續き良好にして殊に廣東福州の價格により荷動き活況を呈し各地へ發送せり[illegible]

木材

建築界活況を呈したる結果多く輸送せられ安東方面より大門、批嶼、新義州、餅店等は船[illegible]

石炭

前月に引續き荷動き活況を呈し數量三萬五千四百五十噸前年度に比し九千九百十八噸の増加を示せり[illegible]

（以下要貨物出荷狀況）

品目	數量
雜貨	[illegible]
肥料	[illegible]
煉瓦、セメント	[illegible]
煙草	[illegible]
金巾類	[illegible]

演藝案內

▲黃金館　二十七日より公開　人情劇『死の輕業師』全六卷　秋田義民傳　『呪の猛火』

▲盆々大好評　吉川亭　『電氣應用』引抜早變り　虎孃　浪花節

▲喜樂館　第一『眞田大助の卷』　『戰鬪の跡』

▲大正館　（一）ダニエルの樽飛（二）意外の出來事　『ユーコンの俠妓』　『舟越重三』

▲浪花館　明治町二六〇番

滿員御禮

の爲特別富眞提供

冒險活劇 死の輕業師
新派悲劇 呪の猛火

他館の滿員は壹千人弱
當館の滿員は貳千人強

黃金館

法人登記公告

拘川出張所

商業登記公告

新溪出張所

商業登記公告

平澤出張所

法人登記

利川出張所

商業登記公告

金化出張所

仁川支廳

登記公告

水原支廳

法人登記公告

利川出張所

法人登記公告

安城出張所

月やく　とまり不順で　お心配の方へ

東洋藥院

公告

當社定款第十七條に依り來ル六月一日ヨリ第一回定時總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

大正九年五月二十一日

京城府安東町大和通二丁目一番地

合資會社 安東證券商品信託公所

若葉の蔭にも郭公の夜にもお炷き遊ばせ名香梅ヶ香を

熊谷鳩居堂　京都寺町　電話上一一〇

目錄御一報次第呈送

內科 胃腸病科

石川醫院　京城本町一丁目　電話一三九〇番

春！旅行ニ八是非

□東京特製トランク
□弊店特製トランク
□柳行李トランク
□乳母車並最新流行洋傘
□其他旅行用具各種

京城本町一丁目

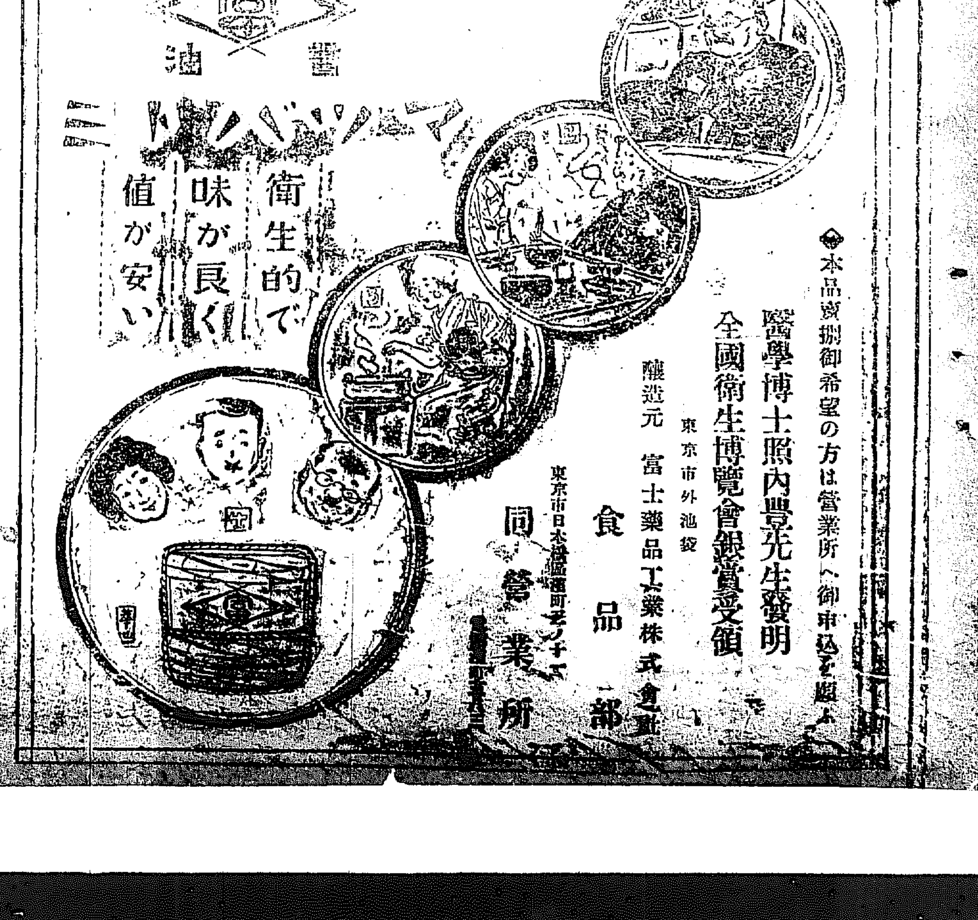
高木鞄店　電話二五四番

朝鮮莫蓙購買

五月三十一日入札、詳細ハ營門前ニ掲示アリ

朝鮮軍經理部

大島紬商　勝久支店



本品御希望の方は營業所へ御申込を願ふ

醫學博士照內豐先生發明

全國衛生博覽會銀賞受領

醬油

ミートバヤシ

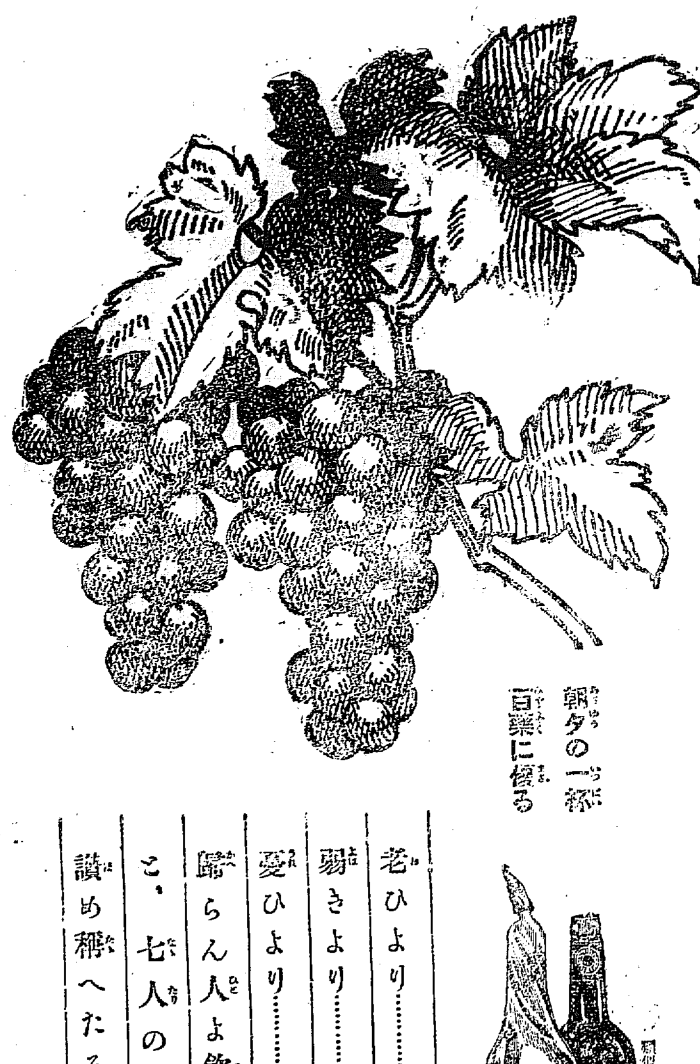
衛生的で味が良く値が安い

釀造元　東京市外池袋　富士藥品工業株式會社　食品部

東京市日本橋區通町　同營業所

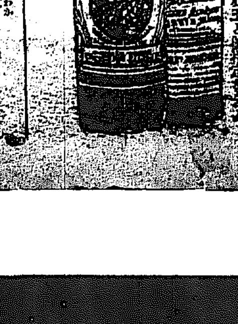
美味滋養葡萄酒

赤玉ポートワイン



朝夕の一杯百藥に優る

老ひより……若きに
弱きより……強きに
憂ひより……怡びに
歸らん人よ飲みたまへ
こゝ七人の博士たち
讃め稱へたる赤玉……



類似品多し●赤玉と御指定を乞ふ

日本のキユーピーを抱いたカツパニー曹長

明治大帝御一代 八十畫題決定す

揮毫畫家の選定は本年末 一題の揮毫料一萬圓見當

明治神宮繪畫館に納まる明治大帝御一代事蹟の八十畫題と、之に附隨する說明文は所報の如く既に藤波子爵を會長とする特別委員會で

決定し 夫が又本月十二日の同協會をも無事通過したので今度は其畫題の下繪圖柄の銓衡に取掛る運びとなつたが、該下繪圖柄は專ら五姓田芳柳畫伯が擔任し、一題に就いて二三枚宛別樣のものを作製しつゝあつた處、此程漸く全部出來したので去る十八日の該特別委員會から此の

下繪の 圖柄大小を銓衡することになつた、今後二三回の協議で此が纏まると茲に愈々八十畫題と說明文と圖柄の三つが決定することになり、次いで元老宮內官並に御委員の承認を待て全部決定濟みとなるのであると、八十畫題の揮毫畫家は今秋十月頃付命さるる日本畫家西洋畫家各

三人宛 と其他の關係者を加へた十人の畫家銓衡委員の手に依つて物色される譯で入選決定するのは多分本年末の見込である、猶ほ畫家は一題一人にするか或は數題一人にするか未決定で、明治大正藝術の粹を拔すと云ふ趣意から場合に依つては銓衡委員間に可也の

論議を 見るだらうと、こゝに繪畫は一題が大抵竪八九尺に橫二間位のもので揮毫完成期間は約二ケ年に揮毫料は八九千圓から一萬圓內外の見積りであるが、從つて奉讃會でも既定の豫算五十萬圓に更に卅萬圓を追加して、約八十萬圓位を計上する模樣である

投げ賣りの流行

女の投げ賣り 不景氣の祟りで 結婚を急ぐ女が殖えた

不景氣は愈々本物となつて現はれて來たので金儲けが日一日と難くなつて手弱い女の身では殊に獨立生活が困難になつて來たので結婚に依り自分の身の振方を付けやうとする者が非常に多くなつて來たやうだ、殊に東京の深川本所邊はひどい、深川結婚媒介所の

一主人の談 によれば『私の方へ依賴する者は今迄大體に於て男子で女の方は殆どありませんでした、處が先月末頃から依賴して來る者は女の方で男は一人もありません殊に若い女よりも相當年取つた女の方が多い樣に見受けます、原因は種々ありませうが不景氣になつたので今迄の樣に多額の月給や內職も無く女で勝手のきく獨立生活が手弱い腕では出來無くなり其の結果

先方の善 惡は兎も角選ばれて自分の身の振方をつけやうとするのでしやう、此れが若い人より年增に多く又全く無産の人と相當地位ある方も有ます、それに引代へて男が依賴して來る者は皆無といつてよい位ですが依賴さへあれば早速話がつきまして此方では媒ら好都合です通常ならば今月當りから數が減らなければならないのにそれが倍加したといふ奇異な現象を呈して居ます（東京）

連絡船上陸客

佐藤たか、久松喬、鈴木こら、床[illegible]田耕造、歐樂湖、宗像金吾、角[illegible]田庄造、外人四名、二等（八十三名）鄭炳臻、金鍾萬、李鍾源、[illegible]主梅、孫福圓、目黑銀次、同太[illegible]同次郎、千葉隆、同いこ子、同忠[illegible]彥、同敬子、金東成、加藤たけ、同[illegible]玉井又之丞、吉[illegible]

新時代婦人服發表會

生活改善同盟會服裝調查委員の一人、美術學校講師齋藤佳三氏は午後三時から日本橋白木屋吳服店樓上研究室に於て新時代婦人服の第一回發表を開き、經濟、美及社交振りの進展等に就いて考慮した生地の使用法さ形式を變ずる樣式』及び『衍樣式』の結論とも見る可き、在來の反物一反で帽子、着物、外套、袢を調整』する形を、實地に紹介した、特に氏自ら作製した服物は新時代に適應した物である來會者は土方伯、宮田節、渡邊滋、棚橋綾子各學校長、宇津木醫學士、櫻田節、獅子鎭井孝子その他數十氏であつた

邦文モノタイプの發明

活版界の福音

邦文タイプライター發明者として知られたる杉本京太郎氏は今回自動活版機械なる邦文モノタイプの發明を完成し專賣特許を得て發表した、本機は鑄鐵製で高さ四尺五寸幅橫共に二尺餘りの小形で之れが操縱も至つて手輕で而も活字の鑄造から植字文撰解版等の各作業を一人の機械使用者に依りて最も巧事に仕上げ得る特長あり從來の手工製版上の勞力をば三分の一に節減し得らるべきものにて本機の發明に依り我活版界の利益する所多大なりと

緩衝機 （投書歡迎）

組合議員選擧に際し

一山生

時勢の進轉は凡ゆる方面に改造を要求して來た我京城學校組合に下すべき改造の斧鉞の第一著は那邊よりすべきか組合會議員の改選は焦眉の間に迫つて來た何人も組合會に向つて此の斧鉞を下さん事を希望しない者はあるまい清き尊き一票の所有者たる吾々は私利私心を爽てゝ組合の爲にするといふ所謂公共的觀念を以て神聖に投票するといふ心懸が改造の第一步である虛榮に驅られ議員たらんとする我成議員――何等主義政見なき灰色議員はまだしも議員たる名のみを有し議場に一回も出席せざるもの甚しきに至つては議員たる名義を利用し私利を逞しふせんとする不德漢もある要するに斯くの如き者が議員に當選せしむるは組合員の最大の恥辱たるのみならず自己の權利と義務を誤用せしむるものであつて組合員の福利增進は決して期せらるゝものでない然らば如何なる人物に此の一票を投ずべきか余は即ち我組合は獨立の團體であつて他の補助を受けず總て自營で通すと云ふ精神と組合の爲に私を顧みず所謂公共的犧牲心を以て共同一致の行動に出づべき人を云ふので此の抱負と此の主義ある紳士に尊き一票を投ぜんとするものである組合財政の整理上吾人の負擔する戶別割の賦課方法決定の如き其の適否は直に吾々の頭上に降りかゝる利害得失の甚大なる問題である從て其投を創減せんとするも至難であるが要するに時勢に適應し組合の大目的たる內地人子弟敎育の十全を期する上に組合員たる我々は進んで負擔すべきは之をなすといふ理知の明を持し倫く込も公平無私の心を以て清き尊き一票を投ずる者が組合行政に對する總ての[illegible]唯一の方法である不正苦情を消滅せし[illegible]合行政の振興を欲せざるも誰かあらう而して其の振興策は多々あらうが[illegible]組合員の自覺と公共的精神の充實に俟つの外無いのである制度法規の改業亦可なるも蓋し之れ第二の問題である四年の後に再び來らざれば再び來らざるかの好機を逸するの後日に殘すの恥を學ばざる樣組合員は大いに自覺し以て理想選擧の範を示さうではないか

政府いよ〱 外米を手放さん

總選擧も濟んで 梅雨期に入つたので

米價調節の目的で農商務省が所有してゐる外米が目下百萬石近くあつて東京神戶等の倉庫に保管してあるが保管料は一箇月

十萬圓近 くの巨額に上り之から梅雨期に入るので腐敗の懸念もあり大いに持て餘して居るが玄人筋の觀測に依ると米の腐敗は打棄てゝも置かれまいから近く賣り出す樣な事にならう某消息通は語る『政府が昨年中に十回餘も賣り出し

大に賣出 す必要のあつた今年は平然として居たのは來る可き總選擧に農民の歡心を買ふ深い魂膽のあつた爲で總選擧も濟んで農民にも用がなく殊に梅雨期の腐敗を懸念し持米を賣り出さうとして目下價格其他を調查中である』

千葉ケ崎の 橫綱流產

來春まで延期

東京大相撲協會にては廿四日午前九時より協會樓上に出羽、友綱兩取締及び檢查役根岸理事等列席大正十年春場所番附を編成し午後三時終了せるが千葉ケ崎の橫綱問題は二三役員より昇進意見出でしも同人は五日目兩國に敗れし上十日目更に大錦に敗られたる事とて次場所の成績次第に依り昇進せしむるも決して晩くはあるまじとの說多數にて延期となれり

紋糸披露淨瑠璃

齋部の各派腕比べ

〇〇〇二日目、一聲の日吉、楠一郎語る所に味あり、勝星の菅四、無難、松玉は立派、石水の忠四、譽に啖つてゐる息よろし、志樂の太十、聽き應へあり、紫孤堅宮、釜山延玉の合邦無難、この人何を語つても辛が無し、安東縣丸小の赤垣、期待した程で無いさか出し物が惡いさか臨々下馬評あり、歷狐、聽き方にて同引立たざる所あるも語り口餘裕あり、源藏よりも蘇平太と母親に眞似の出來ぬ妙所あり、兎に角老巧、滿鮮に於ける屈指の一人ならむ、掛合兜軍記、志[illegible]樂の重忠、品位あつて好し、勝星の岩永、手に入つたもの、與の阿古屋一流の節廻し愛すべし、一聲の伊達無難、四日目、玄笑の合邦、好評、鶴八の新口、〇〇〇、美聲、疵れ無き人の鳴居、喉も良、人聚りたる、千歲の油屋、綺麗に語つたり、玉糸の拵、揭屋、叶の進步に驚く、又は木造りは大喝采、仁川鱗の沼津口、老巧こんな物で滿場を感動させたのは感服

〇梨花學堂記念式　京城梨花學堂にては二十八日午後三時より第三十五回創立記念式を擧行すべし

小品 鎭川の一日（四）

爲光黎明

斯うした場合に、日本婦人ならば、行儀よく膝に手でも置いてゐるのが、正當であるけれど、多くの英國婦人に見るが如く、夫人も編物の針を運ばしながら私たちの太い聲音の中へ、小鳥のやうな其やさしい聲音を、時々合の手として投入れてゐたがやがて、國手に向つて『日本の珍客のために、蓄音機なりとも、御出になつては如何です』といふ

『それは、好い思ひ付だ』といつて、國手は、直に蓄音機の技師に早變りをなして了つた先づ各國の國歌を奏でんと、音譜がつぎ〱に取り代へられる。蓋し西亞の國歌の莊重なる佛蘭西の國歌の快淵なる、英吉利の國歌の從容として迫らざる短い一譜の歌曲の中にも、國民性の閃光を見るのは、實に興味の深いことである。永年の間、うたひ慣れ、聞きなれてゐる我が『君が代』も外國人の家で奏でられるのだと思ふと、さすがに、一種の誇自慢とでもいふやうな感情が、むらむらと與つて

『ああ、日本よ、汝に幾百の缺點あり、幾千の過失ありとも吾は、汝を愛せざるを得ず』と緊張した氣分とならずにはゐられなかつた

斯く、緊張した氣分になつた一刹那の後、私の思想は浙江の浴岸楊花浦めがけて、雷光よりも早く飛び行き、生所の土深きところに眠れる『君が代』の作曲に與つて力のあつた獨逸人エツクルト氏の墳墓のほとりにさまよつてゐた。『人生は短く、藝術は長い』といふ眞理を今夜も、一臺の蓄音機によつて、强く强く見せつけられたわけである。

蓄音機の演奏後、技師より醫師の元の御座に御直りあつた、主人公が中心となつて、猶ほも快談に時の移るのを知らなかつた。が、主教も私も、明晩は出立することになつてゐるので、此の上の永居もなりがたく、國手其の他の人たちに就寢挨拶をした後、提灯をもつた家僕に送られて、私の居室に歸つた。

翌朝、國手の家で朝食の饗應を受けた後、乘馬の來るのを待つ間に、國手は自分が此年月丹誠をこめて買ひ集めた朝鮮や日本の骨董品の中、客室に陳列してあるのを私に見せて、其の一箇一箇の歷史を說明して少しも倦むことがない。數多き日本の骨董品の中、葵の紋のついた黑塗の盆がある。何れ昔は何某かの大名の家にあつて、中老とやらんいふやうな役目の婦人が何か貴族的臭氣のぷんぷんする品物をこれに載せて、兩方の手で、うやうやしく眼八分にさゝげながら、小笠原流の滑り足しやかに、銀燭かがやき渡る廣間を、しづしづと持ち運んだこともあるものだらうと思つて机の上のつやつやかな其の盆の方へ、低く低く私の頭を垂れて見入ると、其處には、桐揚婆さんの面影はなくて、あら笑止や私の醜い顏が、ぼんやりと映つてゐた

『あのね、Tさん、私の博物館も、一寸見物なすつて下さい』と、莞爾として言つた夫人が、室の一隅を差示す指先の方へ、私の眼を從ひ行かすと其處には、雛段のやうな棚ができてゐて、其の上に、世界各國民の日用品中、最も小さきものばかりを、數多く陳列してあるではないか。これはこれは奇妙であると思つて、つかつかと其の前へ行くと、歐米各國はいはずもがな、遠い亞弗利加の土人の用ひる小さくて、珍らしき品までも、幾種となく集めてある。是は、悉く、夫人の幼少時代以來、根氣よく集めたものであつて、實に趣味も深く、實益も多い道樂であるといつてよからう一箇一箇の品物に、それを使用する民族の特性が、ありありと表現されてゐるのであるから、

關釜連絡船

釜山發 朝八、三〇 夕六、四〇

廿八日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
廿九日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
三十日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸

氣象日報 （廿八日）

低氣壓西鮮北部に存し高氣壓は沖繩南方面より朝鮮東南[illegible]

天氣豫報

晴一時曇

東洋パナマ　商標ニ御注意願上候　TOYO PANAMA PATENT TRADE MARK　日本東洋帽株式會社　東京市外大井町

大阪屋號書店　京城本町一丁目

最新刊
朝鮮職員錄
提唱碧巖集 下
小學校敎育改造論
朝鮮司法警察執務提要
我等の希念する淨土教
有利なる是からの企業
英國の王室及議會

菊花と朝顏　△菊花最新優等新名花逸品 △朝顏六寸以上大輪咲六個 京都府宇治町 宇治朝顏園

物品購買廣告　ゼリグナイト外弐点右競爭入札ニ付シ購買ス詳細ハ本日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　大正九年五月三十一日　朝鮮總督府營林廠

⊙成功も失敗も法律⊙　人事物件 [illegible]　錦文堂

第十二期決算公告

貸借對照表 （自大正八年四月一日 至大正九年三月卅一日）

資產ノ部	
拂込未濟資本金	一三三五〇、〇〇〇・〇〇〇
定期償還貸付金	一三三五一八、五二八・〇七〇
年賦償還貸付金	一二六八三三、一六二・〇二〇
移住費貸付金	二二六、九二一・七一〇
借券及債券	一五五二七、八四〇・〇〇〇
別口當座預ヶ金	三三六、六八一・〇四〇
當座預ヶ金	五六八五、七四〇・七四〇
通知預ヶ金	[illegible]
定期預ヶ金	六四九九、三九四二・九七〇
別段預ヶ金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
地所	一六、〇八一、一八〇・八五〇
建物	[illegible]
工作物	[illegible]
農產物	[illegible]
肥料	[illegible]
器具	[illegible]
什器	[illegible]
貸付肥料	[illegible]
貸付物品	[illegible]
開墾工事費	[illegible]
灌漑工事費	[illegible]
新築費	一、七八〇、八二五・六四〇
山林費	二九九、四〇二・二三〇
竹林費	二七、六三九・二八〇
地所費	[illegible]
假拂金	三〇、六九五・〇六〇
未收金	[illegible]
特別預託金	二二九、一三二・二三〇
受取手形	三六七、〇三二・八一〇
金銀	七三、一六二・九五四
總計	一四八、七九三、三二六・九六〇

負債ノ部	
資本金	五〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
缺損補塡準備金	二六八〇、五三一・〇七四
配當平均準備金	一八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
債券發行高	六五九四、四六一七・五〇〇
借入金	四九一〇、〇〇〇・〇〇〇
定期預り金	一八四〇、七六七・七五〇
本支店出張所未達勘定	四〇〇、一四一・一〇〇
假受金	一五九八、四六三・三九八
未拂金	四七五、五四〇・二二〇
特別受託金	一〇九、七八〇・六六〇
契約保證金	五〇八・七六〇
身元保證積立金	五四二、一九七・六五〇
職員退職給與基金	一二〇、〇〇〇・〇〇〇
前期繰越金	三四四、二八五・八四八
當期利益金	一九八三、六〇〇・〇〇〇
總計	一四八、七九三、三二六・九六〇

利益金分配處分

一金百九拾八萬參千六百圓也　當期利益金
一金參拾四萬四千貳百八拾五圓八拾四錢八厘　前期繰越金
合計金貳百參拾貳萬七千八百八拾五圓八拾四錢八厘
內
金貳拾萬七千九百拾貳圓也　缺損補塡準備金
金拾五萬八千六百圓也　配當平均準備金
金拾壹萬八千圓也　役員賞與金
金百五拾九萬圓也　配當金（年九分）
金參拾四萬貳千[illegible]圓八錢八厘　後期繰越金

監事當選

監事一名任期滿了ニ付選擧ノ結果福本元之助再選重任セリ
右公告候也
大正九年五月

東洋拓殖株式會社
總裁　石塚英藏
理事子爵　松平直平
理事　川上常郎
理事　人見次郎
理事　夏秋十郎

織元大暴落
此際產地から買へば半値段
最近相場の半値を以て夏衣五萬反提供
丸登新銘仙絣 男女向 四圓
特製銘仙絣 珍柄男女向 四圓
特製銘仙縞 紳士向 七圓半
精華縞御召 婦人向 上七圓 特上十一圓
精華模樣御召 珍柄婦人向 十二圓
大巾縮緬兵兒帶 上三圓 特上六圓
八千代羽二重 女片側帶 [illegible]
朱子友仙女片側帶 四圓
優美紋織男角帶 三圓
ハカマ單衣等 好適
縞セル
地方よりの御註文は男女別年齡を記し御注文次第[illegible]
丸登足利織物株式會社

地方御註文ニ應ズ

ビールには味附南京豆に限る
商品目錄
煎豆　製菓　掛物　味附南京豆　フライ豆　アラレ類各種　東海ピッタット　水飴瓶詰各種　進物用函詰　人蔘エキス飴　原料落花生
卸問屋　朝鮮京城本町三丁目　岡本福山堂　電話五六四　振替京城四六〇一
ビールの友フライ豆アラレ類各種

多少ニ不拘御用命ノ程

●優秀映畫提供
米國トライアングル、ケービー會社傑作トーマス、エッチ、インス氏監督撮影
鑛山町情話 ユーコン河の俠妓
今度クレオパトラにまで讃美せらるゝ妙齡なる美の所有者ドロシー、ダルトン嬢を女主人公とせるケービー會社貢金時代の大傑作にして雪の國アラスカを橫切るユーコンの河畔、火とも燃ゆる若き俠妓が情緒纏綿として盡きぬ涵濁山折興に穿出せる全八千呎の人情活劇
日活會社本年四月新撮影
浪花百人斬 全五卷
舊劇 舟越重三
浪人後千日前の大喧嘩の仲裁より老俠客鬙屋又兵衞の後援により町人となりし蜂須賀公の家臣舟越重三は紀州家の大部屋百有餘人を相手に發によりて仇討の助勢をなしたる松之助獨特の大舊劇
入場料 特に普通
大正館

下痢と腹痛には百發百中
健胃固腸丸
効力 下痢と腹痛を速に治し 腸と胃を健全にす 家庭にも旅行にも必ず御用意
藥價 十錢、廿錢、五十錢、一圓、參圓、五圓
本舖 大阪 東京 谷回春堂
▼各地藥店に販賣す
▼商標と名義に御注意

[illegible]一等（二十七名）釘宮辰夫、石井[illegible]、[illegible]小泉[illegible]健兒、吉岡[illegible]、龜井博一、[illegible]光雄、石男一馨、林[illegible]三郎、郁野正一、石光幸之助、[illegible]三人健、朴在根、金[illegible]先、朴[illegible]、李定聖、姜信英、安野廣松、木野太助、東惠共、吉浦千吉、金商甫、朴[illegible]大江常二、木本末市、田中平治郎、同きみ、龍[illegible]新夫、同致造、稲川梅吉、見村象吉、田中時彦、高木[illegible]郎枝、同あき、同一枝、[illegible]千枝子、[illegible]同非稔、同廿六日夜入選[illegible]一等（六名）外間現麻、同上[illegible]八重子、久野文子、菅[illegible]三郎、[illegible]義正、一等（三十三名）築山利[illegible]郎、長谷川象太四、菊井まつ子（十一名）[illegible]るゑ、同男作、森田[illegible]、同こめ子、岸榮[illegible]三等（百六[illegible]）[illegible]以北は[illegible]の所多く而して今明日も引續き一般に[illegible]相半ばすべし

廿七日正午　二五六　七八二

嚴かなる靈地の鎭め

美しい童女が雅びなる草刈初の式と

齋服の總監が鎭物埋納の儀

天照皇大神・明治天皇の二柱を祀る

風薫る日の朝鮮神社地鎭祭

天照皇大神、明治天皇二柱を祭神とせる朝鮮神社地鎭祭は風薫る南山の麓、神社敷地たるべき舊漢陽公園跡に於て五月二十七日、海軍記念日をトし豫定の如く執行された。此の日朝來一片の浮雲なき好晴

綠陰深き幽境は朝露の未だ乾ぬ

早朝より清掃され齋場の準備は殘る隈なく整ふた緊松綠樹の間に黑白の幔幕を張り繞らし四方を限つた祭場には四隅に齋竹を立て注連を引廻し正面に立てた祭壇を安置し前面左右に立てた眞榊には日像月像ばかりの五色の絹を垂れ左には鏡玉を懸け右には劍を掛け、鎭物及び忌鍬忌鎌を置き各階級に別つた假幄舍は整然として此日の參列者を待ち顏であつた。午前八時より續々詰めかける

參列員は或は自動車或は人車で

定刻前水野政務總監宇都宮軍司令官芳賀陸士兒島中將等を首めとし早くも二百餘名の參列員が休憩所に溢れ李王殿下御使閔長官、李堈公殿下御使[illegible]氏、李完用伯等も來場し李鍝公殿下は詰襟の學生服にて親しく參列あらせられた。九時一同着席、式は修祓に始まり祭員の一人大麻を執り一人鹽湯を執りて祭場を祓ひ[illegible]の聲起り一同起立、齋主は降神の式を奉仕し綏かな奏樂裡に副齋主以下神饌を供へ次に齋主は祝詞を奏した後齋主は祭員二人を從へ米、鹽、酒、切木綿を執つて宮地の四隅を祓うた。恁くて後に古雅な手弱絲鮮裝を長く垂れた美しい童女一人現はれ先づ忌鎌を執り正中及び四隅の盛土に三宛苅鎌を振りて草刈初めの式を行ひ靜々退場すると更に一人の童女替はりて忌鍬を執り同じく穿初の式を行うた。

朝鮮神社地鎭祭 【上】草刈初式の童女 【下】齋服の水野總監

齋服を纏うた總督代理水野總監

同じ姿の西村土木部長柴田學務局長を隨へ神籬の前に進み出て神域永久に安けく鎭まりませと鎭物を埋納した。再いで李王殿下御使以下各階級代表者恭しく順次玉串を捧げて拜禮し奏樂裡に神饌を撤し齋主昇神を奉仕していと森嚴に恙なく式を終つたが式後更に直會の式あり一同冷酒を土器に汲み隨時退散したのは午前十一時であつた。

御不例 英皇后陛下 御快癒近し

英國皇后アレキサンドラ陛下には氣管支炎より御回復せられつゝあるも激しき御咳嗽中血管の一部裂を起させられたる御治療中御部容の結果御快癒近きにあらせらるべし（倫敦電報）

小田原を中心に 各宮殿下の御別邸御新築

久邇宮殿下には近く御別邸を小田原に御新築あらせらるゝ事とされ御豫定地は皇室御用地の一部を拜借あらせらるゝ事に決定せる由なり尙小田原に御別邸を有せざる朝香宮、北白川宮兩殿下にも小田原を中心として建築あらせらるゝ事となるべし然れども小田原には各皇族方の御滯在あらせらるゝにも拘らず水道の設備なく用水に頗る注意を要するに依り今回某實業家の寄附に依り水道工事を新設する事となりたり（東京電報）

伊機今朝出發 大邱に向け飛行に決す

フエラリン、マシエロ兩中尉は今二十八日午前七時相前後して汝矣島出發大邱に向ひ出發することに決し夫々各方面に通牒を發したり

脫獄す 控訴中 懲役十二年の强窃盜囚

過般鍾路拘置監を脫監したる不逞の曲者中主魁とも謂ふべき强窃盜犯金萬石（三〇）は本籍忠清南道公州郡公州面邑内鷄鳴洞、當時京城府昌信洞五五五在住にて無職の浮浪漢なるが外四名と共に本年一月廿八日午後十時頃金萬石は玩具短銃を携へて陽川郡[illegible]面佛光里朴仁汝方に侵入し强盜を働き金百五十餘圓を强奪したるを手初めに内近郊に於て盛んに强窃盜を働きつゝあつたが鍾路署の手で逮捕し取調の末京城地方法院に於て五月十九日金萬石は懲役十二年に其他も夫々處刑せられたるを不服申立で

控訴中

大膽不敵にも今回破獄を企てたるものにて近く公判に附せらるべしと

瀧川中尉逝く 明野ケ原に墜落せる

去る十五日三重縣明野ケ原に於て搭乘の飛行機墜落し重傷を負ひ宇治山田赤十字病院に入院治療中なりし瀧川步兵中尉は廿四日遂に逝去したるが同日附左の通り御沙汰ありたり（東京電報）

陸軍步兵中尉　瀧川　義治

任陸軍步兵大尉

叙正七位（授功五級金鵄勳章賜年金三百圓）

叙勳六等授單光旭日章

姜宇奎＝最後の審判

嚴かなる死の宣告は斯くの如くして下されたり

上告棄却の判決言渡し

爆彈犯人姜宇奎の上告は過般來高等法院で審理中の處廿七日午前九時半其の判決言ひ渡しがあつた。同法院廷には此日約四十名の鮮人が傍聽に詰かけてゐた。定刻渡邊裁判長以下係官着席被告は出廷せず辯護士も居ないので傍聽人も聊か張合拔けの姿であつたが至極嚴肅な空氣の中で裁判長の朗々たる判決讀聞があつて左の通り上告棄却を言渡された

判決書

咸鏡南道洪原郡龍源面龍興里六十八番地在籍

支那吉林省饒河縣新興洞居住農業

被告人　姜宇奎

六月一日生六十六年

右爆發物取締罰則違反被告事件に付大正九年四月二十六日京城覆審法院が言渡したる判決に對し被告人より上告申立を爲したるに依つて朝鮮總督府檢事草場林五郎の意見を聽き判決すること左の如し

主文

本件上告は之を棄却す

理由

上告趣意（省略）

（當院の說明）

然れども原審は原判文所揭の證據により被告が朝鮮總督齋藤實を殺害せんことを企て原判示の如く爆彈の安全栓を引拔き人の密集せることを知りながら人乘座せる馬車の周圍に在る者に對しても殺害の結果を生ぜしむべきことを豫見し且其周圍に五六間の距離に於て車上の總督の胸部を狙つて爆彈を投擲したる所に落下し轟然たる爆音と共に該爆彈は破裂し彈片四方に散亂し其中數個の彈片は右馬車に命中り内一個は馬車の後方を貫通して總督の腰に附ける劍帶を損傷したるに止め其

爆彈の破裂に因り

身體は無事

なるを得たるも飛散せる彈片の爲周圍に在りたる橘香橘及び末廣又二郎は重傷を蒙り死亡するに至り其他判示各被害者は重輕傷を蒙りたるも死亡するに至らざりし事實を認定したる者にして此事實に依れば被告の所爲は刑法の法條に該當する犯罪を構成すること明かなれば原審が該法條を適用して被告を死刑に處したるは相當なれば論旨中被告が朝鮮總督長谷川好道は

朝鮮統治の不能なる

ことを認め辭職歸國せるに新總督齋藤實の來任せるは世界の大勢なる民族自決主義と人道正理とに背反する不和協議の企圖を抱き朝鮮人二千萬人を弱地に陷らしめ東洋の大勢に背馳し平和を阻止し朝鮮の曙光を抑制する者なれば朝鮮民族二千萬に代り身命を賭して總督に對し爆彈を投じたるものなりと陳べ擲する點は被告が自己の所信を述べする處を述べ

自己の意見

により自己の行爲は正當なりと主張するに外ならざれば理由なく被告が自己の使用せる爆彈に付いて單に一人を殺害するに足るものと信じたるも多衆を殺傷し得る威力あるものなることは知らざりしと又之を投擲せるは單に總督一人を目標としたるものなり被告が携へ爆彈を擲ちに預けたるの同人の供述は

虛僞の言說

なり然るに原審は同人の供述を採用し事實を認定せるは不當なりと主張する點は自己の非行を述べ原審の職權に屬する證據の取捨及び事實認定を非議するものにして理由なく被告は總督の外他人を殺害せんことを欲せざりし旨陳辯する點は縱しや被告が之を欲せざりしとするも原判決の如く被告が爆彈の破裂に因り總督乘座せる

馬車の周圍

に在る者に對しても殺害の結果を生ぜしむべきことを豫見し且其周圍に人の密集せることを知りながら爆彈を投擲し遂に他人を死傷せしめたる以上は其結果に付いても罪責を負擔すべきは當然にして其結果の發生を希望せざるの故を以て罪責を迴避することを得ざるは勿論なれば論旨は理由なく又

齋藤總督は

今尙生存せるに死刑に處するは失當なりと論ずる點は假令總督生存せりとするも被告が判示の如く人の身體を害せんとする目的を以て爆發物を使用し殺人既遂の所爲ある以上は原判示の條を適用し死刑に處斷するは不法にあらざるを以て論旨は原審の職權に屬する刑の量定を非議するものなれば其理由なし（以下省略）

右說明の如く

本件上告は理由なし

を以て刑事訴訟法第二百八十五條に則り主文の如く判決す

大正九年五月二十七日

高等法院刑事部

裁判長朝鮮總督府判事　渡邊　暢

朝鮮總督府判事　楠　常藏

朝鮮總督府判事　横田　俊夫

朝鮮總督府判事　末廣　正之丞

朝鮮總督府判事　原　正鼎

朝鮮總督府裁判所書記　菊池德次郎

姜の近狀 讀耽て居る 鮮譯聖書に

被告姜宇奎は西大門監獄鍾路拘置監に謹慎中であるが健康狀態頗る良好で鮮譯の聖書に讀耽つてゐる相だ何時も覺悟の前らしく惡びれた處もない而し二十七日拘置監へは未だ上告棄却の公然通知が無いので土野看守長初め未だ何も知らない樣子であつた斯くて爆彈犯人の上に最後の審判たる死刑と云ふ動かすべからざる決定が下されたのである。

官吏側の立候補

言論の公開許可さ

言論戰や新候補の出馬で選擧は愈々熱して來た

京城學議選擧の立候補者の政見發表が愈々許可になつたが田中半四郎氏は語る『愈々許可になつた。自分は學議改選の都度、議論の自由、政見發表の

公開を叫

んで來たが官憲も前述の趣旨に顧出た。新しい總督政治では能く許可されると思つてゐたのに許可されぬらしいので然らば宜しいと力んで見たが漸く許可になつたので聞けば此問題は水野政務總監の意見までを徵したのであるが當然の措置です。今日は不許可などと云ふべき時代でも無く又[illegible]

新政治を

裏切るに近い十餘年間叫び續けた我々の言論は漸く自由になつたので自分は二十九日午後八時から壽館で意見の發表をやる筈です……自分としては言論の自由が先づ保障されたのは欣快に堪へぬ次第です』云々政務總監の意嚮云々で立ち遲れ氣味な官吏候補者は中樞院の岩谷武市氏の外に

新候補が

二十六日遞信局から名乘を擧げ郵便爲替貯金管理所の主計課長片桐要治氏が遞信局の背景に馬を陣頭に進めた[illegible]府の今村[illegible]氏と共に官吏側の公認候補として何れも逐鹿界に打つて出た一番優勢だと稱されてゐる大垣丈夫氏は優勢々々と云はれながら

各方面を

勸誘してゐるので或は當選圈内に達し得るかも危惧してゐる程であるとか更に新顏の新社の川島喜氏は急遽立候補を宣したが破竹の勢で目下頗る優勢らしい。本社の村忠助氏は辛くも明治町一二丁目に地盤を得たもの、未だ樂觀は出來ぬ。逐鹿界は白熱化して行く。言論の公開が

許可され

たので二十九日壽館の田中半四郎氏政見發表を序開きに盛大なる演說會も陸續開催され正々堂々言論戰陣頭に各候補者の旨兵を見るのであらう

選擧權の行使が出來ない

現役軍人は

京城學議逐鹿戰が白熱化しつゝあるが近來運動員が盛に現役軍人を訪問し清き一票をと叩頭して廻る由なるが選擧權は當然あるも現役の軍職にあるものは學校組合選擧規定第四條第四項で選擧に參與し得ぬ事となつてゐるので選擧權の行使は不可能であるとか府吏員は『龍山の現役軍人で約三百あるが之では夫々調査の上選擧名簿に印を附するので當日態々來られても選擧に參與は出來ぬので誤解のないやうに願ひたい』と

大邱の伊機歡迎

花輪や記念品を贈り 更に歡迎宴の開催

羅馬東京間大飛行の伊國飛行機は既に京城着愈々大邱に飛來するは今明日に迫りたれば大邱府民は熱誠を以て此遠來の珍客を迎ふべく一切の準備を了したるが歡迎方法大略左の如し

▲歡迎各委員　委員長松井府尹、副委員長松永中佐、吉村猶雄、李柄學、庶務會計係伊藤吉三郎、徐丙朝、[illegible]、設備係增田虎太、鈴木熊太郎、鄭海鵬、接待係新田爾平、木村竹太郎、鄭在學、宣傳係永井幸太郎、李柄學、稻木新臣、警備係稻田大郎、飛行場長、田中大郎、憲兵分隊長、矢田保安課長、救護班陸軍側と慈惠醫院とす

▲着陸と萬歲　飛行機姿の視界に入りたる時は煙火一發、上空に來りたる時二發、着陸したる時三發を打上げ一般に報知し尙ほ着陸の際は各學校生徒及び委員は萬歲を唱へ休憩所に案內

▲花輪の贈呈　着陸場内に設置の式場にて福田道、李柄學氏嬢、木村竹太郎氏嬢照子、徐丙朝氏嬢[illegible]、中山法院長嬢[illegible]、吉村猶雄氏嬢[illegible]子、將校に一箇宛二箇の花輪を贈呈せしめ其の他の搭乘者及伊國準備將校並に兵卒等には花束を贈り松井府尹より記念品を贈る、着陸場内に於て歡迎宴を開く

▲市內の巡覽　着陸場内の小宴終れば一行を自動車に案內して市中を巡覽し同夜は大歡迎會を開く

右終りて一同起立伊國萬歲を三唱散會裡に散會せり

招宴

伊國飛行將校 軍司令部官邸にて

宇都宮軍司令官は二十六日午後七時半より軍司令官邸に於て伊國飛行將校フエラリン、マシエロ兩中尉及リバー大尉バウチ中尉パロヂー伊國代理領事並他伊太利側關係者十餘名を招待し陪賓には軍參謀長參謀部副官部員及び二十師團西田參謀長等列席晩餐會を催したり席上軍司令官の挨拶左の如し

伊太利飛行團の羅馬東京間飛行は實に世界飛行上新記錄を作りたるものにて[illegible]

病院內で縊死を遂ぐ

難病を苦にして

京畿道洪川郡乃村面沼寬里四七番地農業東崇許氏（三七）は肺炎に罹り本年四月八日春川慈惠病院の施療患者として入院治療中四月十七日患部の切開施術を爲したるも捗々しく治癒せざるを悲觀し去る二十一日午前三時頃同院附屬施療患者病室構內なる小屋內に細紐を吊して縊死せるを發見同院より春川警察署に屆出たるが係員直ちに出張檢視したり（春川）

劇藥の密賣

藥種屋拘引さる

府內黃金町三丁目二九六番地藥種商山田一二三（三一）は無免許にも拘らず鹽酸コフエインアンチピリン廿五グラム外數種の劇藥を府內黃金町三丁目三〇八番地料理業淸遊亭方雇女三好やす他二名に賣却し其他も處々に密賣せることを發見し本町署に引致取調べの上二十六日檢事局に護送されたり

少女の慘死

大岩石が落下して

[illegible]里百十三番地金化月（二）は五月廿一日同里內の北の大[illegible]と稱する山中に蕨の葉を採りに行き[illegible]十尺の斷崖より一枚數大の岩石[illegible]は無慘の死を遂げたれば[illegible]警察署よりは巡査部長出張行政檢視を爲したり（平壤）

剝盜捕はる

新丁峠の 美少年を辱めんとした奴

京城府中林洞五十三番地居住人夫金商段（三〇）は去る四月二十日午後四時頃[illegible]元寺小僧許富春（二）が京城より華元寺への歸途を待ち伏せ松林の鬱蒼たる新丁峠の溪谷にて約八合目の所に於て小僧の所持金六圓四十五錢及び周衣一枚を强奪し剩さへ小僧の美少年なる處より之を辱めんとしたるも小僧の抵抗に目的を遂げず逃走したるが去る二十二日西大門外孔德里に於て通行中龍山署の警官に捕はれ目下同署に於て取調中なり

警察より逃ぐ

强盜犯嫌疑で留置中

江原道丹陽郡[illegible]嫌疑にて留置中の同郡永春面[illegible]里李文九（三）は去る廿五日巡査に腹痛を訴へ便所に行くと見せかけて逃走し何れへか行方を晦ましたり（平壤）

古城韓兩代表の歡迎會

京城ホテルにて

京城府主催の古城管常韓相龍兩氏歡迎會は二十六日午後六時より南山町京城ホテルで開催府內の內鮮官民八十餘名にて齋藤京城府尹司會者として開會の辭あり古城韓兩府民代表から御下賜の酒肴料を今日の歡迎會に寄附の披露について兩氏上京中の種々に畏くも聖上兩陛下各宮家初め宮內省等の殊遇に感激の誠意を表し終つて今日の會合を[illegible]

慈善活動決算

去る八、九、十日の三日間南大門南兩校に於て開催したる扶植農園慈善活動寫眞會は空前の盛會なりしが其の收支決算は左の如くにして純益金三千一圓七錢は總督府內務局の監督下に決算委員の手で本部に送金したり

一金三千六百六十五圓五錢　總收入

內譯

金二千三百十四圓入場料收入、金千三百五十一圓五十錢寄付金

一金六百六十三圓九十八錢　總支出

內譯

金五十八圓活動寫眞用電力料、金百七十五圓五十錢一行旅費、宿泊料、金三百圓活動寫眞謝禮、金六十六圓印刷費、金四十二圓九十七錢雜費

差引殘金三千〇一圓七錢　純益金

春季野球戰

日割其の他

運動

朝鮮體育協會春季野球戰は[illegible]公園にて左の日割で擧行[illegible]

廿九日午後四時より[illegible]

廿日午前八時より[illegible]

[illegible]

侍天教開張式

侍天教は二十六日正午より[illegible]堂に於て開張式執行[illegible]四十分無事終了[illegible]邸にて盛大な宴會[illegible]

▲黃金館　二十八日[illegible]
▲浪花館[illegible]
吉川亭虎輔[illegible]
義太夫會[illegible]
大正館　廿八日[illegible]

日本人に[illegible]の[illegible]氣[illegible]ないのは殘念だ[illegible]テルの古城韓兩氏[illegible]から一時間以上の遲刻[illegible]の中心人物がコンナに[illegible]らないのも困つたもんだ[illegible]秀逸大きな要點であつた[illegible]

黃色煙草作況

安東沿線に於ける米國種黃色煙草の試作にかゝる東部煙草株式の發芽狀況を聞くに去る四月中旬下種以來旱魃打ち續きたる爲め發芽不同の憾みなきにあらざるも苗の生育は最も良好にして目下早きは二番間引を終り遲きも一番間引中なるが試作場の分は苗床に加工ありて五日中には移植に適すべきも降雨なき爲め多少時日遲るゝなるべし（安東縣）

全南春蠶好況 實收倍加乎

全南の春蠶は氣候溫暖の關係にて近年見ざる稀有の良好狀態に生育しつゝあり桑葉も亦肥料潤澤の爲め發育を促進され各地共に桑葉過剩を告げ相場一貫六十錢のもの三十錢に下落せり、六月早々稚蠶の走りを見同十日頃より共同販賣を行はるゝに至るべく今年の收繭量は前年の實收四千六百石に比し倍加の一萬石に上る見込なり（光州）

濟州島の椎茸 栽培狀況

全南濟州島調査に係る大正八年椎茸栽培狀況は經營者二十一名作付面積四千八十七町植栽榾數三十一萬一千百十五本にして之が生產八萬六千二百斤價格二十二萬四千百四十六圓を算し前年に比し二百八十九斤を減じ價額七萬三千五百七十五圓を加したるが椎茸の暴騰に依れるなり（光州）

湖南線改善協議會 六月初旬木浦にて

群山商業會議所は嚮に湖南線鐵道輸送改善要望に就て關係當局其他各方面に陳情書を提出したるが猶湖南線各地農商工各組合代表者若くは有力者の會同を求め鐵問題解決促進運動に付き協議すべく木浦商業會議所に照會せるに同所よりの回答に依れば多大の贊意を表すると共に大會を木浦に開催するの希望を申越せりと因に大會は六月初旬群山木浦兩地何れかに於て開催せらるべし（群山）

群山各銀行帳尻

群山各銀行支店五月二十日現在合計帳尻は預金の部定期四十一萬九千五百九十七圓九十七錢當座八十六萬三千四百九十二圓二十一錢特別當座四十三萬五千百九十四圓十四錢計百七十一萬八千二百八十四圓三十二錢にして貸出の部定期五十五萬三千五百六十九圓九十六錢當座五十九萬七千三百七十七圓九十一錢荷爲替九十一萬七千五百三十二圓五十七錢割引手形三百五十四萬六千三百十六圓十一錢計五百六十一萬四千七百九十六圓五十一錢なりしが群山郡市金融組合の同日現在帳尻は預金の部定期千二百二十圓當座一萬二千五百二十一圓特別當座一萬三千百八十七圓計二萬五千九百二十七圓にして貸出の部當座一萬四千百四十圓約束手形六萬六千九百三十圓證書貸附三萬三千五百二十五圓計十一萬四千五百九十七圓なりし（群山）

釜山府協議會

釜山府に於ては第五回府協議會を二十六日午後一時より左の諸問題に就き審議せり（釜山）

一、府第二十八號府債償還年度割變更の件

二、府第二十九號營業稅の賦課率改正の件

三、府第三十號渡船使用料條例中改正の件

四、府第三十一號渡船使用料定額中改正の件

全北輕鐵整備

全北輕鐵にては其後改善を急ぎつゝありしが此の程來機關車も二臺到着し從前の機關車も修理したれば都合四臺となり客車も數輛新造したるを以て近時何等の故障も無く本線との連絡も好く各驛貨物も滯貨せず漸く順調を得るに至りたりと河本新任專務は語つてゐる（全州）

商議役員會

釜山商業會議所にては二十五日午後三時より商工俱樂部に於て大正八年決算報告並に給與規定の改正其他雜件に付附議せり（釜山）

經濟調査會

二十五日午後四時より商工俱樂部に於て經濟調査委員會を開き鮮銀、各支店長及び大池、坂田の諸氏研究する處ありしと（釜山）

釜山繁榮例會

二十五日午後五時半より商工俱樂部に於て釜山繁榮會規則改正に付き委員會を開き同七時より毎月の例會に移り同九時盛會裡に解散せり（釜山）

會計整理着手

大田學校組合及び面會計事務に就ては五月廿四日來谷大田郡守は吏員數名を指揮し大正七年度よりの整理に着手したるが其結果は六月上旬頃ならんと（大田）

同俱樂部活動寫眞會開催に決定し目下其準備中なり（安東縣）

近く光州に武德館新設 目下着々準備中

六月上旬行はるべき全南道警官武道大會の擧あるを好機とし警察部にては光州に武德館を新設すべく準備中なり目下道內柔術家を首めとし山下三部長の二段、光州勤務佐々木巡査の三段、外に道警察部の初段中井農學校教諭の初段格を有し劍道界にも三部平田教師の三段、民間角治三郎氏の初段、監獄劍道教師三原氏の初段等を擁し其他柔道に新進の猛者多ければ早晚本會の實現を見るに至るべし

紛織數地工事 紛擾解決

釜山鎭にて目下工事中の朝鮮紡織數地工事に關し淸水組と下請負者畑中組と工事期日遲延に關し感情の行違ひありて既に椿事を惹起せんとせしも其後相方諒解をとげて一方畑中の工事期日遲延は請負者側に於て其の責に任じ一段落を告げたり（釜山）

南鮮庭球大會 愈々六月六日開催 參加希望チーム歡迎

本社大田支局主催大田庭球俱樂部後援の南鮮庭球大會優勝旗爭奪戰は愈々來る六月六日の

日曜日 を卜し大田コートに於て開催する事に決定したり、今や半島の運動界勃興の機運に際し斯かる運動の好シーズンたる極めて著しきものあり、加ふるに參加者は勿論後援者側に於ても大會の準備怠り無く

此の擧 をして充分盛大ならしめ以て體育上有意義のものたらしむべく努め居れり、當日の參加希望の選手は二組みに限り所屬俱樂部及び住所姓名を記し六月二日までに京城日報社大田支局宛申込まるべし、右大會決定發表するや

後援者 たる大田庭球俱樂部員は毎日猛練習をつゞけ當日の試合に於て名譽の月桂冠を獲得すべく研しつゝあり、而して今回の優勝旗は本社に於て特に三越本店に其の調製方を依囑し同店に於ても黑ひきり

意匠を 凝らし嶄新なる圖案により調製しあるを以て從來行はれたる夫の比には非ざるべし（大田）

群山神社 神輿渡御式 本年十月盛大に祭典を擧行する

全羅北道群山府鎭座群山神社は大正四年十一月今上天皇陛下御即位の大典を永遠無窮に紀念し奉るべく群山府在住の內鮮官民約三千有餘戶の氏子同心協力して創建し伊勢內宮の天照大神を本社に奉齋し金刀比羅社及び稻荷社を末社として奉祀せるが社司杉野淸造氏は熱心なる年來の唱道に依り今回群山府尹宮館貞一氏醫院長原、渡邊守太郎氏篤志家宮崎佳太郎氏及び氏子總代中柴萬吉、中山虎太郎、林松吉、藏部謙哉、伊藤光三郎の諸氏を始め有力者五十餘名の發起人協議の結果愈々七千五百圓の豫算を可決し神輿及び行列附屬品並に御旅所及び神庫を建築し本年十月秋季例祭には朝鮮に於ける模範的神輿渡御式の大祭典を執行し敬神尊皇の大道を感化し併せて民心統一群山發展の萬一に資せんとし目下其れが準備中なり（群山）

朝鮮扶植農園 活動寫眞

新義州は公會堂 安東縣は南座

大邱東村朝鮮扶植農園主事藤本松太郎氏は先般來新義州安東縣に來り同園寄宿舍建築費募集の一助として兩地に慈善活動寫眞會を開催すべく奔走中なるが既報の如く新義州に於ては既に相當の後援者を得二十八二十九の兩日公會堂に於て開演に決定し更に安東縣に來り入江領事、古藤山中地方事務所次席、杉原行政委員長諸氏後援の下に於て

養蠶に熱心な 竹田夫人

可愛い令孃と多くの鮮婦人達を督勵して

全州で大規模に養蠶を經營して居るのは前全北輕便鐵道會社の專務竹田寬次郎氏の夫人である同夫人の養蠶に熱心なのは附近で誰知らぬもの無く且つ年々壯い女の腕には過ぎる程莫大な利益を收めてゐる、記者は去る二十四日同家の蠶室に夫人を訪れた、立派な桑の蠶室に夫人は當日のエプロン姿で令孃禮子さんを督勵し多くの鮮婦人に指圖しながら働いて居る樣は見るからに眼も廻る忙しさであつた、か聽て徐ろに語つて曰く『今年の掃立は朝日一號、特大諸桂の二種で枚數は三十七枚です只今は三眠から覺めるところで五百枚のバラに別けてありますが茲二三日中には約千枚ほどのものになりますそうなると蠶にあたがふ桑は一回分百貫目も無くては足りないのですから夜も碌々眠らずに働くといふ忙しさになります…只今ですら猫の手も借りたい位ですが』とそして打ち見たところ蠶兒の發育は頗る良好今暫く雨さへなければ來月四五日頃には全部上簇する事となり聽ては夥しき玉のやうな繭を得て言ひ知れぬ喜びを胸に包むに至るであらう殆ほ全州では養蠶に熱心な人として村上分監長夫人橋本檢事夫人眞鍋夫人等を擧げ得るが殘念にも未だ大規模といふ程迄には至らない（全州）

俠客奇譚 祐天吉松 第四八席

神田伯山講演

甚『イヤ其の幸神寺の銀杏の洞にゐる猫と云ふのは』 喜『ナニ其の猫を云ふのは四五十疋で、何處から集まつて來るか分りませんが』 甚『一寸行つて見たいもんだ』 喜『アゝ行つてお出でなさい』甚五郎が來て見ると成程大きいのや、小さいのや、眠つてるのもあれば、ぢやれてゐるのもある、矢立てを取出してサラ〜と其の猫の形を取りました、後に天王寺又は日光へ甚五郎の猫を彫りましたのは、是が大に役に立つたやうで日を經て故鄕の心添へ參りますると、親父の甚左衞門は却々の重體、直ぐに側を離れることが出來ませんから附添つて居りました、江戶で仙樂政五郎、廣德寺の御普請さう〜引張つて置く譯になりません、門人甚五郎が引いた繪圖面通りに自分でしまして、甚五郎の造へたことにして、御作事方下山拐下殿へ申し上げると、スッカリ出來上つたのを見て、マア是れなれば大丈夫だ、ハテ斯う造らへて見ると心持ち門の丈が低いやうだ、モウ二寸高いと素晴らしいが、ナニ此が何うした譯ぢやァねえ、繪圖面通りにやつたんだ、是なら甚五郎さんに何とも云はれる氣遣ひはないと政五郎思つて居る、所へ 甚『アゝ只今歸りました』 政『オヤ甚五郎さん能く歸つて來てお呉れた、サア此方へ上つてお呉んなさい……甚五郎さんが歸つて來た、一杯附けねえか』 甚『どうも姐さん種々御遠慮を掛けて濟みません』 姐『オヤ甚五郎さん、能くお歸んなすつた、家の棟梁と始終お前さんの噂ばかりして居たんですよ』と早速酒と肴の支度が出來た 政『さて甚五郎さん日取がモウ迫つて來て仕方がねえから、那の門はお前さんの引いた繪圖面で造へましたよ』 甚『アゝ左樣でございますか、どうも有難う存じます』 政『就ては甚五郎さん、一寸一緒に行つて見て貰ひたい』 甚『ナニ棟梁見ねえたつて宜うございます』 政『ナニさうでねえ見てお呉れ』 甚『さうですか夫れぢやァ行きませう』 政『六尺杖持つて行け』甚五郎、政五郎弟子を連れて廣德寺へ參りました、尺杖を當てましてスッカリ甚五郎が見て、甚『どうも棟梁能く出來ました、私が自分でやつても斯うは出來ません』 政『ナニ甚五郎さん手落ちはないかい』 甚『ヘエ、何處も手落ちはなく結構でございます』 政『遠慮のねえ處を云つて呉れねえ』 甚『イエ克く出來ました』 政『さうかい、夫れを聞いて私も安心をした、ぢや家へ行つてユックリ呑まう』と諏訪町へ戾つて來て、また差向ひで盃の數を重ねて來た、時に甚五郎が 甚『さて棟梁私が居なくつて代りに拵へて下すつて誠に良く出來ましたが只口惜しいことには丈が少し低うございました』 政『サア甚五郎さん乃公も然う思ふ、お前さんの繪圖面通りやつたんだが、甚五郎さん二寸ばかり低いね』 甚『棟梁尺杖を當てゝ見ましたが、私の引いた繪圖面通りぢやアないやうです』 政『其ア甚五郎さん困る、お前さんの繪圖面通りなんだから』 甚『イヤ然うぢやアございません、爲め繪圖面を出して見てお呉んなさい』 政 中へ繪圖面を置いて 甚『棟梁どうです、二寸低いぢやアございませんか』 政『ウム、どうして甚五郎さん斯んなことになつたんだらう』 甚『私は[illegible]に時に寄へまして[illegible]こな間違へて[illegible]にかゝりませんやうに、請合つた職人が前の晩にでも遊びに行つて幾分か眠い時に鋸を死てる時に切損を間違へて洞突から切つて了つた、一本の柱が二寸短くなつたから仕方がない、他の一本も人に知れないやうに切つて了つた、夫れだから二本短くなつたんでせう』 政『成る程さうか、此奴ァ甚五郎さん言譯のねえ事をした、能く私が調べなかつたのが惡かつた』 甚『ナニ棟梁二寸低いからつて別に障りもない結構で、兎角言ふ處はございません』 政『マア甚五郎さん出來ちまつたんだ、勘辨して呉れ』

岩田病院

京城長谷川町鐵冷前溫泉

內科 一般外科 婦人科 花柳科

正五位勳三等 醫學博士 岩田末彦

入院隨意 （電話一六二〇番）

銀行開店披露

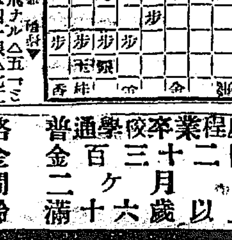
既報の如く株式會社誠成銀行は二十五日より營業開始に付日支官民百餘名を招待し二十四日午後七時より公會堂に於て開業披露宴を催し官役廳諸氏の挨拶入江領事の祝辭あり酒肴日支藝妓の餘興あり非常の盛會裡に同九時散會したり（安東縣）

將棋新手合（完）

於木浦本町松本武正宅 木浦將棋同好會

飛香落 六段 △溝呂木光前（京城） 初段 ▲島澤岩太郎（木浦）

（圖は前號指了迄の局面） △持駒 島澤氏 金銀桂歩



△三九歩▲二五飛ナル△五一ミ▲同玉△四四桂▲四一銀△七一銀▲六一金△四二銀▲同銀△六一銀ナル▲同玉△四二歩ナル▲六一歩△八二金迄、島澤氏の勝

總評 本局は序盤より下手方は上手方の左翼破壞の策戰を採り居るに拘らず上手方は五三金と緩慢なる手を指せし爲め猛襲されて破られたり以下下手方は少しも急がず綏々と自玉を安全地帶へ移し徐々と攻擊せし爲め上手方は策の施しやうも無く途に中押に敗られたり

五月廿九日（舊四月十二日）

▲土曜日 ▲丁亥 ▲九紫 暗劍南方 ▲先負 ▲女 破 ▲三りんぼ

▼九紫▲人困らせの事生じ易し

▼一白▲無駄話に終る事ある日

▼二黑▲財寶盛んなる日南方は勇を鼓して活動し大に効果揚らん

▼三碧▲得意の日進むに利あり殊に新方面に事業を開拓するに好き日

▼四綠▲何事に限らず纒まりよき日女子の婚約を結ぶに大吉

▼五黃▲瑞氣充まる日圖らず立身出世の端緖を得る事あるべし

▼六白▲欺され損の事に逢ふ日

▼七赤▲苦勞の甲斐無かるべし

▼八白▲酒食樹從の日何事も吉

富山縣人に告げ申す

今回本縣人并に讃り兼ねて親睦を謀り度候間御家族同伴御來會被下度候

開催日時 五月卅日（日曜日）午前十一時

會場 龍山元町二丁目瑞龍寺

會費 金壹圓 外に同伴の御家族に對しては御一名金參拾錢宛を頂きます（當日御持參）準備の都合がありますから御出席の有無を必ず廿九日午前迄に旭町一丁目天常堂（電一一〇）へ御通知下さい

申込

富山縣人會幹事

◎青春男女必讀の二大粹書出づ！

夜の樂み 天下一品 粹畫六十四枚

男粹百紙 艶畫六枚入

天美堂

補血滋養藥

ネオヘマトパン

志賀醫學博士指導製劑 佐藤、安倍醫學博士實驗推獎

本劑は血液を營養增殖すべき純ヘモグロビン及腦神經を賦活ならしむるレチチンを含有す、故に本劑の服用は身體を强壯にし精力を旺盛ならしむ

醫效 貧血諸症、肺病、肋膜炎、十二脂腸蟲症、過勞、神經衰弱、產後貧血諸症、小兒營養不良等

一瓶百五入金貳圓五拾錢 送料拾貳錢 各地藥店に販賣す

京都市下京區古川町三條下ル 發賣元 日本新藥株式會社

特約店 京城本町四丁目 宮本千粒堂藥局

入學資格 普通學校卒業程度

學資 金百三十二圓

期間 二ヶ月

年齡 滿十六歲以上

○暗世界カラ明世界ニ!!

○因襲的職業カラ文明的職業ニ!!

自働車 運轉手養成

專科 毎月一日十六日 新學期開始

京城自動車講習所

京城黃金町三丁目角（電話二一六一番）

整腸消化劑

ビオフェルミン

糖化菌含有乳酸菌製劑

本劑はメチニコフ博士の提唱したる乳酸菌療法に最も適したる完全乳酸菌製劑にしてブルガリアン乳酸菌の外腸內に於て澱粉質の消化を行ひ併せて乳酸菌の作用を强烈ならしむる糖化菌を含有す。即ち本劑は腸內殺菌、防腐、消化、整腸の三作用を有するを以て腸諸疾患、腸消化不良等に對して現今唯一の良劑として賞用せらる。

三十五入（金九拾錢）百五十五入（金參圓九十錢）五十錠入（金七拾五錢）百五拾錠入（金貳圓）送料十二錢、外ニ紛末三百五入、四百五拾五入あり

本劑に關する醫家二百有餘名の臨床報告集あり。紙代郵呈す。

全國知名藥店に販賣す。

發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衞商店

りん病 ばい毒

醫科大學帝國大學

本舖 大阪心齋橋筋本町 有田音松

製藥所 京城南大門外（電車通）

發賣元 有田ドラッグ

京城黃金町三丁目（電車通） 有田ドラッグ

支店 龍山 仁川 大邱 平壤 元山 晉州

滿洲大連岩代町 有田ドラッグ

大阪 東京 にせドラッグ沢山あり

表記支店にて 有田製を取求め乞ふ

にせが出來るヨ

有田ドラッグ

佛國大統領巴里歸還

大統領デシャネル氏は巴里に歸還せり負傷は別に憂慮す可き程にあらず(巴里電報)

商況

株式

東京現株特電

(廿七日中値)

銘柄	掛込	時價
東株	一〇〇、〇〇	一二〇、〇〇
新東	一二五、〇〇	四〇、〇〇
同新	二〇、〇〇	五〇、〇〇

東京株式 至急電報

(廿七日第一立會)

銘柄	前場	比較
東株	二〇二、九〇	七、〇〇
同新	一九五、〇〇	六、〇〇

大阪株式 至急電報

銘柄	廿七日前場寄付	廿六日後場大引
大株	二五〇、一〇〇	二二五、一〇〇
同新	一九五、〇〇〇	二〇三、九〇〇
[illegible]	一五二、九〇〇	一五三、七〇〇
[illegible]	七三、四〇〇	七三、三〇〇
[illegible]	八四、八〇〇	八五、五〇〇

大連株式 至急電報

廿六日前場(受渡後氣配ボケ)

銘柄	當限	先限
取引所	六三、〇〇	六三、〇〇
[illegible]	六三、三〇	六十七、〇〇

安東銀相場

〇二十五日(現物中値)

小洋錢百圓對金	一四五、二四
中國票百圓對金	一〇三、九八〇
大洋票百圓對金	一二四、八〇〇
鈔票一兩對小洋錢	一、五二〇
鈔票一兩對金	二、二二〇
金一圓對錢	四五〇
小洋錢一圓對錢	六、五六六

京城現株 標準値段

銘柄	▲印賣	▲印下落
仁取	四〇、〇〇	一八三、〇〇
株	三三、五〇	三〇、〇〇
安信	三三、五〇	一六、〇〇〇
朝銀	一〇〇、〇〇	一二〇、〇〇〇
同新	二五、〇〇	四二、〇〇〇
植銀	二五、〇〇	五三、〇〇〇
同新	二五、〇〇	一五、〇〇〇
朝鐵	五〇、〇〇	四〇、〇〇〇
東拓	二〇、〇〇	五八、〇〇〇
同新	二二、五〇	[illegible]
朝土	三三、五〇	一五、〇〇〇
大土	三三、五〇	一〇、〇〇〇
果勘	三三、五〇	三一、〇〇〇
朝勸	一〇、〇〇	二一、〇〇〇
朝毛	二五、〇〇	二八、〇〇〇
朝紡	二五、〇〇	一〇、〇〇〇
朝興	三〇、〇〇	二六、〇〇〇
屁革	三三、五〇	一一、〇〇〇
東醸	二五、〇〇	一〇、〇〇〇

東京現株氣配

(二十七日午前)東株一〇〇、〇〇▲同新七〇、〇〇▲郵船一五〇、〇〇▲日清紡九九、〇〇(京松入電)

救濟善後

七四銀行破綻影響

(横濱電報)第七十四銀行の休業は獨り同行に止らず其影響は市内一般各銀行に波及し甚だしき横須賀商業銀行の休業となり二十五日は戸塚銀行休業し二十六日は神奈川銀行本支店七ケ所六月八日迄の休業を發表せり而して一方左右田銀行の取付は和らぎ緩和せるものゝ他の方面に於て取付は續出すべく

民賣人氣全盛

絲糸解合の解合は先づ五六月限のみ行ふことゝなりて標値は廿六日に定限取したるも大取組の七十九限を取除きし期近のみの解合は一時的の姑息手段に過ぎず此姑息の救濟が反つて今日の禍根を爲すは現下の株界の憾状が前月の救濟當時當限を主として中先に及ばさりしこと最大の原因を爲せるに徴し得べく從つて銀行の破綻米國財界の不振が一面與つて力ありと云ふも絲解合ならざる限り容易に絲糸市界の前途樂觀を許さず而して東京市場は其內面に於て幾多の悲觀すべき事情存し取引所は代用證劵の値下より莫大の損害を蒙れりと云ひ當限の喰合尙ほ八十五六萬の多數を抱擁するのみか彼の茂木氏關係の社が多く關東方面なるにこれ等彈が上に人氣を阻害し受株者は悲觀をも恰ぶるものなりしきれ五月の入超は又々一億圓を突破すべしとの懸念も出て各種各様の惡事情斷續して內外の空氣を險悪ならしめ居る際とて民賣人氣は一層熾烈を極め新規賣愈々たり

收拾頗る困難

財界の動搖は獨り日本のみならず米國の如きも諸物價大暴落し既に恐慌狀態に化し印度方面の如きも大棉花商の破綻續出しつゝありと云ふ支那は銀塊激落の影響を受けて大恐慌を惹き起し當分恢復の見込なしとあり今や我が財界は內憂外患交々到るといふ悲境にある者にして大局的に之を觀察するも樂觀の餘地なし寧ろ樂觀説を以つて巨額の因果玉を支へ來たれる株引市場の如きは一層苦痛を感ずべき道理なるべく此の上の暴落に對して如きは一層困難を中堅して買團の方こそ引所の重ひ恐らくは平態を紛糾するものあるべく其收拾頗る困難なるものあるべし

形勢一變

財界の混亂は先づ株式界に於て示現されたが株價の崩落は益々甚しく一般に投賣物續出し其の大勢今更如何ともし難く益々暴落の一途を辿るのみなりき▲形勢一變は株界の中堅たる野村系の買物が打切られた事で是に遂に株界の形勢一變を來しつゝある

形勢一變り

財界の混亂は種々なる不祥事を惹起し先づ株業界の中心たる茂木合名の凋落に伴ひ左右田銀行の取付を傳へ既に此の種の弱材料は蓄入れられたか如き感ありとは云へ之れに敏感なる大間題は認めらるゝ如く却つて大局の形勢を惡くするもの多く株界の一層悲觀説を抱き最早底入れと認めたるパラ氣の買物が漸く影を潛めしは當然の事ならん而も野村系統の買物の見込出盡せる今日の如く一般は警戒氣分濃く目先今一段の反落を免れずんば已まざる可し

兜町だより

▲相場は前日の下落で漸く此の位で底だらうと云ふ人氣が出かけて居るが郵船株が重い感じを殘存して居る以上は仲々の難局の相場を辿ると云はれて居る▲今の處では買方は如何にも貧弱で追擊が追々に見えて來るが夫れでも賣方は一掃されたので相場の方は反撥の氣味を示して居るので弱氣の多いのには賣方も少し凝つたと云ふ事もあるが日を遂ふて稀有の事と云ふべく新高値を出すのは現時の狀勢から見て樂觀に過ぎる

北濱たより

何れを見ても悲觀材料ばかりで安い暴落だ▲たがテンで買人がないと云ふのは獨り株界のみの現象ではなく米國も同樣の運命を辿つて居る最近の銀行界の大暴落を傳へて來たのは食糧品の大暴落を傳へて居るが財界共通の現象だから手が付けられんだらう▲北濱村では附けたのもみな內切つてのエライお方ものである

C.R.Lee Co.
有價證券　現物賣買
SHARES BROKER
李章魯商店
TEL No. 345. 505. 508. 803.

何れか開始せらるゝ次第で自然株價は思ひの外底堅く當物は賣買の受け渡しが日歩が付かねば到底挽回の見込みは無いであらう定石論から行くと此邊のところは絕對の買場所であらうが何株にも買ひの望み手が無いだ人が嫌がつてゐる時に手を著けた方が結局勝利であらうが人氣たから致方が無い

京城現株市況

內地市場の未だ全く灰汁拔けせざると月末關係は一層株式界を沈淪ならしめ今朝の如き京株三十圓見當に引締り五百枚ばかりの商內あり東拓五十七八圓處に四十二圓五十錢より四五十枚朝紡十五六圓處に三百枚東亞新株二十圓五十錢より二圓處に五十枚ばかりの手合ありたるのみにて閑散なりき

京株小締り

京株は昨朝氣配二十八圓より八圓五六十錢處なりしが午後に入り今朝は賣買双方共三十圓を唱へて引合ひ捗々しからざるも氣配は手堅く昨午后より今朝に亘り二十八圓を値ごして八圓八十錢、九圓、九圓五十錢、三十ことぞり高の足取を示して五百枚ばかりの商內ありたり

朝紡叩き次第

朝紡は愈々本月末を以て第二回拂込みを徵收さるゝより金詰りの折柄之れが處分を急ぐ者續出し居れるが株界目下の形勢と新たに設けらるゝ紡績業の將來に躊躇さるゝ振合ありて內地に於ては既に十二圓五十錢拂込みのもの九圓處に低落し居れるより當地の相場も漸次之れに倣ひ來りて昨今十一圓處の投物あり尙買手の腰入れ次第にて十圓擱みに叩かれる振合あり

野村の硬化

(大阪株信 二十五日)

高値より賣方針を一貫し來れる野村は頃日來茬々其建玉を手詰めつゝあり而かも安値には買浚はんとする態度を示しつゝあるが偶然今朝來頻りに大株新舊久原株等に向つて買物を注ぎ來れり此の當り屋を目標として▲パラ掛り買も加はる爲めに近來稀なる好調を呈するに至れるが如何なる新勢力の後援に依るか此の反撥力に至大の影響を及ぼすものにあらざるなきか

米況

◎東京、大阪の正米相場は左の如し

	東京	大阪
二十五日	[illegible]	[illegible]

◎京阪金利　五月廿六日の現在

◎日銀帳尻　五月廿五日現在左の如し

發行高	一、二一八、三八〇、〇〇〇
正貨準備	九二一、〇〇七、〇〇〇
限外發行	一七七、三七二、〇〇〇
貸出高	六四九、二九二、〇〇〇

◎鮮銀券日報　五月廿六日の現在左の如し

發行高	一四七、一〇、七九二
正貨準備	四五、四七一、〇八五
限外發行	一九、二三九、七〇七

東京期米特電

(廿七日前場)

	寄付	中引	止め
當限	三十七圓三十錢		
中限	四十七圓十錢		
先限	三十九圓九十錢		

日後場　廿七日前場

大阪期米特電

(廿七日前場)

	寄付	止め
當限	三十八圓五十一錢	
中限	三十七圓五十一錢	
先限	三十八圓四十七錢	

神戸期米特電

	廿七日前場	日後場
當限	三八、〇一	
中限	三六、九九	三七、四五
先限	三七、二九	三七、六〇

下關期米特電

〇廿七日前場(晴、株安不安)

釜山正米特電

內地期米保合なれども當地在庫米乏しき結果自然硬調にて一圓高を示し晩良四十三圓八十錢二千五百叺出來せり大豆は變らず京釜物二圓二十大至二十七圓處なり(二十七日)

群山正米特電

來月末四十一圓十錢先限中四十一圓丁度現物四十一七十錢(二十七日)

仁川期米

二十七日前場(亂高下)

昨後場の買物に阪地の安移を添へて三十錢を安値に四十錢小口の手詰めに大引せしが今朝內地當限期も二三十丁高の早耳を傳へ人氣強硬となり當中出來さりしが先三十七圓五十錢三十丁高に寄付きの買ひに六十五錢と反撥せしも戻待ちの買物に乘せられて四十錢に下邊りせしが、第二節以降十錢高に寄付きの買ひに六十五錢と反撥し機先電報筋の買進み漸次に小口の買物を呼びて八十錢を、二四十錢に下迆りせし

此邊一服乎

昨後場の不調の惡影響を受け阪地の七圓に大引けたる大賣物は其つ三十錢に崩れを見せしも大勢は四十錢ミ小戻しに手詰め引出で四十錢も八圓〇一錢に存ふ買物は寄付は三十七圓五十錢と底値を示し弱氣筋は三十八圓以下に成り三十七圓五十錢を安値に入れたる等々底氣强く十錢ミ反騰を試みしも地合は二流筋七十銭にて大引けなる

仁川米豆取引所仲買人
坂倉仲買店
電話 六五〇番 三五五番

後場反撥ず

前場阪地のチリ安に嫌氣投げ誘ひ三十七圓四十錢と崩れたる所を前場の買物が三十七圓二十錢から三十九圓五十錢と手堅く十錢處へ追ひ込みも割合に無理のない手堅さ八圓を見ると又賣物が三十八圓二十錢と暴落して底が出來て一錢とまで引けたり

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
仲買店
電話 長九〇五番 四四番 八三番

市場雜觀

昨今の晴天續きに麥作が出來ないので肝心の植付が出來ないと心配して居るが天候が快復して麥も少しづつ收穫が出來ると云ふので好材料となつて居る▲米の相場も中々强く此の際あるべき當然の成行を見て居る▲此の商況は期米の買方筋の方針によつて大打撃を受けたのではないかと思はれる

大豆賣物薄

大豆は昨今金詰まりに苦しめる向きも多くなりて內地の賣物が出ないので小賣人等は大體に於いて賣りと買ひを兼ねて取引して居る

	前場	後場
廿七日 當限	三八、四〇	三七、〇五
中限	三七、〇〇	
先限	三八、二〇	

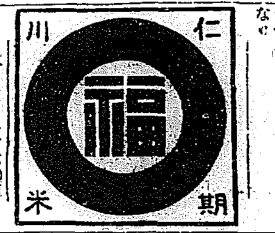
仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
田中金兵衛商店
電話 長 一八二番

京城正米市場

內地期米の安に引續き當地京城正米市場も先物が一面に手控へ氣配の中に一般は甚だ警戒して居る▲內地筋の買方は賣物の惜みで相場を睨んで居るが賣方は安値を見込んで賣込んで居る▲米の需要は一般に減じ一般に見ると當時の京城米價の好況には至らず

仁川正米市場

昨日來定期安に促進されて高値より四圓百丁の大暴落を演じ市價は二十錢方の高價を唱へて居るが今朝は其後の賣物の續出で大體不振なり



仁　期
川　米

大阪三品特電

(廿七日前場)

限月	値段
五月限	三六九、九〇
六月限	三七五、二〇
七月限	三七六、六〇
八月限	三八七、九〇
九月限	三九一、〇〇
十月限	三九一、八〇

土岐賢一商店

金物一齊暴落

金物類は現下の財界不況と一般的の消費減少により仕入を見合はせるもの多く殊に鐵類は各種とも暴落を示して居る

箕浦商店
長電話五二番

土地建物機械類賣却廣告

賣却物件
一、土地　全南南平　仝九百六拾四坪
一、建物　本造釘丹及葺倉庫　四棟此坪數百二十五坪二合五勺
一、木造釘丹葺工場　壹棟此坪數八十坪五合(以上一號ヨリ四號ニ區分ス)
汽罐　汽機
第一號木浦所在　壹個汽機横置單筒不凝縮式
第二號榮山浦所在　壹個汽機
第三號南平所在　壹個汽機
第四號光州所在　壹個汽機
右賣却候條御希望ノ方ハ各所在地ニ付キ現品熟覽ノ上入札相成度候
一、入札ノ期日　大正九年六月二日午後一時
一、入札場所　木浦本店
大正九年五月二十二日
木浦　朝鮮棉花株式會社

京城府南大門通三丁目九十二番地
荻原眼科醫院
眼科　內科
電話 一二六七番
院長 荻原

シンガーミシン賣買
ミシン針・油・部分品・卸小賣
ミシン修繕及交換
中古ミシン利好品澤山販
京城鍾路三丁目三十七番地
楠商店

▲當る五月廿八日より特別提供
舊劇 眞田大助の巻(全七巻)
先週多大の好評を博したる連續冒險眞田三代記の後編
二第 戰鬪の跡(全十一卷の內 四卷上場)
米國ウイリアム・ダンカン氏大活躍
毎日晝夜二回開館
說明 桃花、曉花、凉花、旭花
本町 喜樂館
電話 五九七番

廣告

一、今回朝鮮出張所ヲ左記ニ開設致候
一、有給社員優遇招聘候也
間
國際生命保險株式會社
朝鮮出張所
所長 安村彰

京城學校組合會議員ノ總選擧ヲ行フ其ノ選擧會場、投票日時及選擧スヘキ議員數左ノ如シ
大正九年五月二十八日
京城學校組合管理者 朝鮮總督府府尹 齋藤　三
記
一、選擧會場　京城南大門公立尋常小學校
一、投票ノ日時　大正九年六月九日 自午前七時 至午後五時
一、選擧スヘキ議員數　十八人

時代適應
改造一滴
目薬
科
さしたら一滴きゝめ一番
特長
シュマズ
イタマズ
主治効能
〇はやり目　〇つき目
〇うみ目　〇ちり目
〇ほし目　〇のぼせ目
特にトラホームに大効あり
巧妙なる配合
大學及各病院公撰處方に基き我薬局實驗著効薬
價　壹錢五十錢　五十錢　一圓
本舖　大阪・東京　高橋盛大堂薬局
到る處の薬店にて販賣す

材木商開業
內地材 鴨綠江材 直移入販賣
右今般左記の處に於て開業仕候に就ては精々安價を以て御用命に應じ申候間多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
仁川濱町築港前通り(元稻田組跡)
製材業建築請負
(ウ) 內海材木商會

痔疾專門
京城久枝肛門病院
電話 二〇三

謹告
拜啓各位益々御多祥奉賀上候却説小生事從來共同して煉瓦、瓦の製造に從事致し居り候處今般之に御成候に就ては何卒倍舊の御愛顧を渴望仕候
煉瓦、瓦、土管製造業
安井全之助

京城本町三丁目
建築用金物一切
大工道具一切
打刃物
各種錠前
近藤安吉商店
振替 京城三〇〇番

理化學器械一式
(K)
仁川本町
京城本町
北島藥店

藥種賣藥卸商

劍舞（十五）

碧瑠璃園
挿畫 森田ひさし

努力の威（四）

若枝は斯うした幸福が、自分の頭へ落ちて來やうとは思ひ掛けないで、不幸な嬰兒の爲めに、紅木綿の産衣を縫つて居た、生れぬ前から此ほど不運な小供の行末を考ねると、針の目の眺むのも覺ねるまで、瞼が熱い返つた、然し

『人間は悲觀ぢやならない、いかに不幸な身の上と觀じても、どこかに少しの幸福を持つて居ないものは無い、その幸福を一心に餘ら幸福と思ひ極めて、一心に頼つてさへ居れば、それが段々と大きな幸福になつて、遂にはその光輝に包まれる時が來るものである』と或る精神家に聞かされた事を胸に置いて、段々暗の中へ引き込まれて行きさうな身體から、幸福の破片を拾つて見た、それは外でもない、親切な夫を持つて居ることであつた

何方を向いても、不幸な事ばかりで取り卷かれて居る中に、所作ほど心切な夫を持つたのは、殊に優れた幸福でなくてはならない、彼女はその幸福に向つて感謝した、同時にその幸福に向つて歡喜の情を寄せた

『この幸福に離れてはならない、此の幸福に離れるのは、刄を咽喉に當てるのである』

と覺悟しながら、さし迫る不幸の數に思ひ至ると、叉しても不覺の涙が流れる『有難い』と感謝する心の盡が、直に涙の雨を誘ひ出すのであつた

『此方に若枝と申すものが居りますか』

若枝は不圖斯うした聲を聞いて、思はず『おや』と耳を欹てた その聲は姑の持つて居る粗野の強い聲であつた

『はい、在らつしやいます』

斯う答へたはお花であつた

『ぢや、わたしの來たことを、一寸知らせて遣つて下さいませんか、わたしはお孝と云ふものです』

若枝は胸に針を刺す如く感じた が、許しは置かれず、下駄を降りた、姑に逢ふのは身を切られるほど辛いのであつたが、それでも此處に隱れて居る事を知られた上は、逢はない理に行かなかつた

『あらお母さま』

若枝は大きな腹を抱いて、段梯子を降りた處に突立つた

『まあ、お前』とお孝は大袈裟な表情をして『こんな處へ來て居たのかい、わたし何樣に尋ねたか知れませんよ』

『どうも濟みません』

『濟まないのはわたしですよ、わたしが辛く當つたんで、お前さぞ居難かつたらう、どうか堪忍してお呉れ、これからは生れ替はつた心になつてお前さんを大事にします、家庭で小供を擧んで貰ひます』

お孝の口からこんな優しい語を聞かうとは思はぬので、若枝は嬉し涙が頰を傳つた

『その證據を見せる爲めに、わたしが態々迎ひに來ました、此方樣へも色々御厄介に爲つたらうから、何れ改めてお禮には來ますけれど、兎も角も歸つておくれ、お前が歸つておくれでないと、わたしの心が濟みません』

若枝は夢でないかと思つた、今まで辛い悲しい目ばかりを見せられて居た經驗から『お母さんこんな事を云つて、わたしを伴れて歸るのぢやないか、伴れて歸つて、今までにも無い折檻を加へるのぢやないか』と疑つて見た、然し、姑が態々迎ひに來たと云ふのを、謝絶する詞は無かつた

『どうも恐れ入ります、わたしの我儘から、こんな眞似をして居ますのに、わざ／＼お母さまのお迎ひを受けては罰が當ります、然し、どうかお引取り遊ばして……わたくしは後から歸らせて戴きます、實はお二階が散らせてありますから、あれを方付けて置きたいとも思ひます、また……』

『好いよ／＼、二階はお花に方付けさせるよ、奧さんは早くお歸りなさい、それでないとお母さんも精が無からう』

彦兵衛は奧の間から怒鳴つた

お花は自分の事のやうに歡んで『奧さんお俥車呼んで參りませうか』

婦人靈藥 ノメバヨクナヲル
女の命
パガキニテ申込次第スグ送ル
京城旭町 富木兄弟商會

皮膚科（診察夜九時迄）
皮膚病 黴毒 淋病
京城明治町二丁目（入口説教所）
佐藤醫院 電話一七六〇番

タオル
神戸タオル商鮮一手販賣
京城若草町四〇
卸商 上月商店
電話一〇三五番 振替京城五三二番

日報詞苑

俳壇

○暖か

鍾持ちて寐ね居るヨボや暖き　蘆村（大阪）

○

暖き雨に伸びたる蕨かな　京南坊（京城）

○砂の下に燦らせる芹や暖き　草陽炎（仁川）
○荷車を押上る阪や暖き
暖う蛙浮べる水田かな
○馬を放し寐て居る子や暖き　無花子
○草に寐て雲仰ぎ見るや暖き　東明
○白衣干しある暖き丘の芝生哉　水哉
○暖う鳴き居る箱の兒猫かな
○引き汐に漂へる藻や暖き　梅卿
○蜘蛛ひて草の香嗅ぐや暖き
○病癒えて髯剃る緣や暖き　魚骨
○庭廣う麥干しあるや暖き
○いつか降りて庭這ふ兒や暖き　拓川
○硝子戸に羽搏く虻や暖き
物を被りて張り物す妻や暖き
暖かや寐そべつて見る海平ら
蟹の泡吹く江の風や暖き

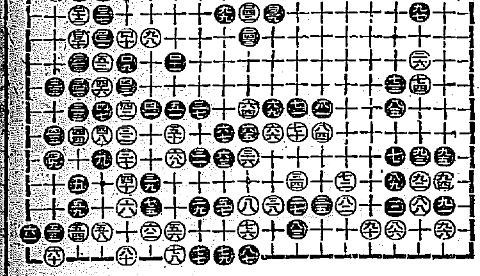
▲次回課題『牡丹』『巣』各題十句以内、締切五月三十日、慶尚南道南海島落合拓川宛同好諸君の奮つて投句あらん事を望む

▲代數學の御教示下さる方あらば一寸本欄にて御傳へ願ます（H M生）▲或男樣心當りあり御住所姓名を當欄まで（エス生）▲親なし不幸者生に答ふ御歌の明治十七年七月二十八日は陰暦甲申六月七日也明治二十五年二月十四日は陰暦壬辰正月十六日也以上（馬山府大前繁）▲二日本欄の御師女へ通信し度し居所及び氏名（假名なりとも）本欄にて永す貴女御結婚なさる思召は御座りませんか若し有りますれば小生の友人にて四十七歳の獨身者にて他に係累なくして目下ある大會社に勤め平北の田舍にて月俸八十圓の收入有ります御希望あれば御住所御氏名本欄にて御通知被下度候（世話燒生）▲去る四日附本欄に揭出の或男氏に告ぐ幸ひ希望者有之候條下記宛照會あれ（大邱府錦町一の十八大成館方中澤生）、軍人好の母に私は至つて身體は健康ですが一度御伺致し度く考へますから住所姓名御報知を乞ふ而の上詳しく申します（極東讀者）▲十四日の諸者領分の同情者君の仰せの如く明治町の某のまゝ子いぢめはまことに近所の我々には實に見るにもしのびん次第だ大正の岩藤さ名がついてゐるさうだ〇才と〇才の男子に〇才の女の子をのこしてかへされた前妻が實に氣の毒だ我々も大いに同情にたへん早くその良人たる人改心して今の毒婦を早く追出すべし（近所の子持視）▲當地官立專門學校に籍を有して內地官立學校試驗を受けんと研究していて［illegible］（MJ生）▲小生へ［illegible］今年十七才の處女ですが普通の教育を卒へ家事の手傳を致して居ります內地人の夫を求め一生仲良き家庭を作る心算です尖ずながら［illegible］郎の家庭の事情、現住所、保證［illegible］御知せを乞ふ又當希望に依つては妾の寫眞を御送附申し上ても差支へはいません（不幌秀子）▲龍山元町女生に答ふ、當希望の通り致したいけれ共一應街頭面會の上御相談致したい故至急下記まで御出で下さい（黃金町一丁目一九四花田）

圍碁新局（十）

大正九年五月圍碁會席上 京城日報社後援
白 關源吉（五段）
先 紀本龍太郎（三段）

○	一三六	ぬ七
●	一三七	り八
○	一三八	ぬ八
●	一三九	り九
○	一四〇	ち五
●	一四一	さ八
○	一四二	ぬ九
●	一四三	ぬ十
○	一四四	ろ六
●	一四五	は六
○	一四六	よ八
●	一四七	れ十二
○	一四八	い五
●	一四九	は五
○	一五〇	さ六



最良ゴム
サック
男女各專用
壹打六十錢 特製四打 壹打貳圓 上製壹圓 別打七十錢 女用珍具各種申
三圓迄送料十錢 郵券一割増 代金引替送る 振替大阪五三六四七
大阪西區靭北二ノ一三九 浪速商會

母乳代用 哺育料
キノミール
追々牛乳や煉乳は腐敗し易くなります
御承知の『キノミール』は營養價値豐富、香味佳快、且つ腐敗の虞なく使用法は極く簡便で、夜中でも旅行中でも直に用ゐられます
まだ初めての御方は御申越下されば詳しい説明書をお送りいたします
全國食料品店藥店にあり
京城本町一ノ五一 ○○○○○
東京神田表神保町 株式會社 和光堂

りん病 急性慢性を問はず新發見の博士藥を配合せる淋滅を御用あれば全治迅速なり 藥價一圓四十錢 二圓七十錢、四圓、送料不要
特製品 ルーデサック
A 十個五十錢 廿個九十錢 B 十個七十錢 廿個一圓三十錢 形 廿五個一圓八十錢 川女 一個（一錢）代用郵券一割増
廿個以上送料不要
京城黃金町三 振替京城參萬七 山川文殊堂藥房

人蔘の強敵
▼婦人病に用ひ靈妙なる效驗あり▼
人蔘ニ優ル強壯劑
インヤウクワク
淫羊藿エキス
通稱三枝九葉草エキス

二十五瓦	一圓
三十五瓦	一圓五十錢
四十五瓦	一圓九十錢
五十五瓦	二圓三十錢

發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
特約店 山岸天佑堂 北島藥店

桃谷研究試驗所創製
◀光榮ある美顔化粧料三十六種の內▶
▲白百合！
▲白薔薇！
その樣な美しい顔色と
美顔ユーマー
■荒れを防ぎ……皮膚美を増し……理想的の白粉下■

一度使つても
■ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでも、其の一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。ユーマーのこの作用は、どなたにもよく分り、そしてお氣に召されます。

美しさの頂上
■御使用の度重なるにつれユーマーは彌々巧妙の作用を現します皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮かに美しい顔色は、誠に美しさの頂上で御座います。

荒止と化粧下
■この外にも、ユーマーが化粧下として此上なく好い事、及び日燒けを防ぐ効用と荒れを防ぐ効用の優れてゐる事は、一度お用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。